

対象校No. 0140

注4

学校コード F132110109461

注3

設置年度

令和

5年度

計画の区分： 学部設置

注1

事前相談

注2

島根大学

材料エネルギー学部 材料エネルギー学科

**【事前相談】設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)**

国立大学法人 島根大学
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名

企画部 企画広報課

職名・氏名

カカリン 係員 ヤマナカ ヨウスケ
山中 雄介

電話番号

0852-32-6593 (内線: 2186)

(夜間)

0852-32-6593 (内線: 2186)

e-mail

gad-kikaku@office.shimane-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合: 「〇〇大学」

・学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合: 「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合: 「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」

・通信教育課程の開設の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

材料エネルギー学部

＜材料エネルギー学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	6
3. 施設・設備の整備状況、経費	35
4. 既設大学等の状況	36
5. 教員組織の状況	37
6. 附帯事項等に対する履行状況等	54
7. その他全般的事項	55

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

国立大学法人 島根大学

(2) 大 学 名

島根大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒690-8504

島根県松江市西川津町1060番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
学 長	(ハットリ ヤスナオ) 服部 泰直 (平成27年4月)	(オオタニ ヒロキ) 大谷 浩 (令和6年4月)	任期満了のため 令和6年4月1日(6)
理 事	(フジタ タツロウ) 藤田 達朗 (平成27年4月)	(マスナガ ツギユキ) 増永 二之 (令和6年4月)	任期満了のため 令和6年4月1日(6)
理 事	(ヒゴ コウイチ) 肥後 功一 (令和3年4月)	(マツザキ タカシ) 松崎 貴 (令和6年4月)	任期満了のため 令和6年4月1日(6)
理 事	(オオタニ ヒロキ) 大谷 浩 (令和3年4月)	(カナヤマ フミ) 金山 富美 (令和6年4月)	任期満了のため 令和6年4月1日(6)
理 事	(シイナ ヒロアキ) 椎名 浩昭 (令和3年4月)		
理 事	(フジナミ トヨヒコ) 藤波 豊彦 (令和4年4月)	(オオカワ テツヤ) 大川 鉄也 (令和6年4月)	任期満了のため 令和6年4月1日(6)
理 事	(ミヤワキ カズヒデ) 宮脇 和秀 (平成30年4月)		
理 事	(ウエノ トモノリ) 上野 友典 (令和2年4月)		
学部長	(ミハラ ツヨシ) 三原 毅 (令和5年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)

令和6年度に報告する内容 → (6)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
材料エネルギー学部 材料エネルギー学科 学士(工学)	工学関係	4年	80人	2年次 0人 3年次 5人 4年次 0人	330人	—	令和5年4月開設

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の 学期区分について	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	80人 () []	人 () []	80人 () []	人 () []	—	1.05倍	—	令和5年4月開設
志願者数	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	220人 () []	人 () []	254人 () []	人 () []				
受験者数	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	141人 () []	人 () []	148人 () []	人 () []				
合格者数	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	90人 () []	人 () []	87人 () []	人 () []				
B 入学者数	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	86人 () []	人 () []	83人 () []	人 () []				
入学定員超過率 B/A	—	—	—	—	—	—	—	—	1.07	—	1.03	—				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「—」を記入してください。
 ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
 ・ なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」に「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。
 (春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「—」を選択。)
 ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用) IV. 33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
 ・ 「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況 AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	86 [1] (—)	— [—] (—)	83 [—] (—)	— [—] (—)	令和5年4月開設
2 年次			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	86 [1] (—)	— [—] (—)	
3 年次					— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
4 年次							— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
計							— [—] (—)	— [—] (—)	86 [1] (—)	— [—] (—)	169 [1] (—)	— [—] (—)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、**内数で記入**してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、**内数で記入**してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
- また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学生数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	86 人	0 人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	0 人	0 人	
令和6年度	169 人	0 人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	0 人	0 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{86} = \boxed{0} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{169} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

＜材料エネルギー学部 材料エネルギー学科＞

(1) ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基礎科目	英語IA	1前	1								7
	英語IB	1後	1								6
	英語ⅡA	1後	1								7
	英語ⅡB	2前	1								7
	英語ⅢA (English Interaction)	2後	1								1
	英語ⅢB (English Presentation)	3前	1								1
	英語Ⅳ	1・2・ 3・4前後		1							2
	小計(7科目)	—									
	ドイツ語Ⅰ ※	1前	2								3
	ドイツ語Ⅱ	1・2・ 3・4後		1							3
	フランス語Ⅰ ※	1前	2								1
	フランス語Ⅱ	1・2・ 3・4後		1							1
	中国語Ⅰ ※	1前	2								4
	中国語Ⅱ	1・2・ 3・4後		1							4
	韓国・朝鮮語Ⅰ ※	1前	2								3
	韓国・朝鮮語Ⅱ	1・2・ 3・4後		1							3
	(注)※印から必修科目として1科目を選択										
	小計(8科目)	—									
	健康スポーツ ※	1前	2								1
	芸術文化Ⅰ(音楽) ※	1・2前後	2								1
	芸術文化Ⅰ(美術) ※	1・2・3 前後	2								1
	芸術文化Ⅰ (島根の祭りと芸能) ※	1後	2								1
	(注)※印から必修科目として1科目を選択										
	小計(4科目)	—									
健康・文化・スポーツ／芸術	情報科学	1前	2				1				1
	小計(1科目)	—									
	数理・データサイエンスへの誘い	1・2・ 3・4前	2								3
	小計(1科目)	—									
	小計(21科目)	—									
情報科学	論理学	1・2・ 3・4前		2							1
	行為と価値	1・2・ 3・4後		2							1

【令和6年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
鳥大 S T E A M 科 目 群	情報科学	1前	2				1				
	数理・データサイエンスへの誘い	1・2・ 3・4前	2								3
	論理学	1・2・ 3・4前		2							1
	行為と価値	1・2・ 3・4後		2							1
	生成文法入門	1・2・ 3・4前		2							1
	情報化社会と経済	1・2・ 3・4前		2							1
	日本語の表現	1・2・ 3・4後		2							1
	実用微分積分学Ⅰ	1・2・ 3・4前		2							1
	実用線形代数学Ⅰ	1・2・ 3・4前		2							1
	実用線形代数学Ⅱ	1・2・ 3・4後		2							1
	実験データ解析入門	1・2・ 3・4後		2							2
	生物有機化学	1・2・ 3・4前		2							1
	エレクトロニクスのはなし	1・2・ 3・4前		2							1
	細胞生物学	1・2・ 3・4前		2							4
	電気・通信技術の歩み	1・2・ 3・4後		2							1
	統計検定セミナー初級	1・2・ 3・4後		2							1
	分子細胞生物学Ⅰ	1・2・ 3・4前		2							1
	分子細胞生物学Ⅱ	1・2・ 3・4後		2							1
	情報と地域ーオープンソースと地域振興	2・3・4 後		2							7
	Rubyプログラミング	1・2・ 3・4前		2							5
	数理・データサイエンス活用	1前		2							1
	Excelによるデータ分析応用(未開講)	1前		2							4
	プロジェクトデザイン	1前		2							2
鳥大 S T E A M 科 目 群	アントレプレナーシップ入門セミナー	1・2・ 3・4後		2							2
	Excelによるデータ分析入門	1・2・ 3・4後		2							4
	人と職業	2・3・4 後		2							1
	教育研究のための統計法	1・2・ 3・4前		2							3
	イノベーション創成基礎セミナーⅠ	1・2・ 3・4前		2							1
	イノベーション創成基礎セミナーⅡ	1・2・ 3・4後		2							1
	実例ビジネス開発論 ー社会構造の変化に対応する新しい価値の共創ー	1・2・ 3・4前		2							2
鳥大 S T E A M 科 目 群	クリティカルシンキング	1前		2							1

基礎社会学Ⅱ	1・2・3・4前	2						1	異文化コミュニケーションB(名称変更)	1・2・3・4後	2							1
地域開発と環境	1・2・3・4前	2						1	グローバル・リテラシーセミナーA(名称変更)	1・2・3・4前	2							1
フランスの社会と文化	1・2・3・4前	2						1	グローバル・リテラシーセミナーB(名称変更)	1・2・3・4後	2							1
考古学からみた韓半島の先史・古代文化	1・2・3・4前	2						1	TOEIC スコアアップセミナーA(名称変更)	1前	2							1
山陰のこたば	1・2・3・4前	2						1	TOEIC スコアアップセミナーB(名称変更)	1後	2							1
大学教育論－島根大学と社会－	1・2・3・4前	2						2	実践英会話(基礎)(名称変更)	1・2・3・4後	2							1
観光学入門	1・2・3・4前	2						2	国際文化情報A(ドイツ語圏)	1・2・3・4前	2							1
スタートアップ・イングリッシュA	1・2・3・4前	1						1	国際文化情報B(ドイツ語圏)	1・2・3・4後	2							1
福祉の世界	1・2・3・4前	2						1	国際文化情報C(ドイツ語圏)	1・2・3・4前	2							1
問題解決の進め方	1・2・3・4前 後	2						1	国際文化情報D(ドイツ語圏)	1・2・3・4後	2							1
社会の産業と倫理	1・2・3・4前 後	2						1	実践ドイツ語(会話)A	1後	2							1
市民自治の知識と実践	1・2・3・4前 後	2						1	実践ドイツ語(会話)B	1後	2							1
小計(48科目)	—								実践ドイツ語(読解・ライティング)A	1後	2							1
初級微積分学Ⅰ	1・2・3・4前	2						1	ドイツ語検定セミナーA	1後	2							1
初級微積分学Ⅱ	1・2・3・4後	2						3	国際文化情報A(フランス語圏)	1・2・3・4前	2							1
初級線形代数Ⅰ	1・2・3・4前	2						2	国際文化情報B(フランス語圏)	1・2・3・4後	2							1
初級線形代数Ⅱ	1・2・3・4後	2						2	国際文化情報C(フランス語圏)	1・2・3・4前	2							1
実用微積分学Ⅰ	1・2・3・4前	2						1	国際文化情報D(フランス語圏)	1・2・3・4後	2							1
実用微積分学Ⅱ	1・2・3・4後	2						1	フランス語検定セミナーA	1後	2							1
実用線形代数Ⅰ	1・2・3・4前	2						1	実践フランス語(会話)A	1後	2							1
実用線形代数Ⅱ	1・2・3・4後	2						1	実践フランス語(読解・ライティング)A	1後	2							1
統計学入門(※)	1・2・3・4前	2						1	国際文化情報A(中国語圏)	1・2・3・4前	2							1
実験データ解析入門	1・2・3・4後	2						1	現代中国語セミナーA	1・2・3・4前	2							1
物理学で見る自然界の仕組み－力学・電磁気学と熱力学－	1・2・3・4前	2						1	国際連携中国語セミナーA	1前	2							2
物理のための数学入門	1・2・3・4前	2						1	国際文化情報 B(中国語圏)	1・2・3・4前	2							1
反応の化学	1・2・3・4後	2						1	現代中国語セミナーB	1・2・3・4後	2							1
環境の化学	1・2・3・4前	2						1	国際連携中国語セミナーB	1後	2							2
生物有機化学	1・2・3・4前	2						1	中国語会話(応用)(名称変更)	1・2・3・4後	2							1
高分子と有機分子の化学	1・2・3・4前	2						1	中国語音声セミナー(未開講)	1・2・3・4後	2							1
地球と人間生活	1・2・3・4前	2						1	中国留学セミナー	1・2・3・4後	2							1
計測のはなし	1・2・3・4後	2						1	中国語検定セミナーA(名称変更)	1・2・3・4後	2							1
住まいの科学	1・2・3・4後	2						1	中国語表現法(応用)(名称変更)	1・2・3・4後	2							1
エレクトロニクスのはなし	1・2・3・4前	2						1	中国語スキルアップセミナーA	1・2・3・4前	2							1
動物の世界	1・2・3後	2						3	中国語スキルアップセミナーB	1・2・3・4後	2							1

入門科目 (自然科学分野)	植物の世界	1・2・3・4前	2						1	国際文化情報A(韓国・朝鮮語圏)	1・2・3・4前	2						1
	物質と生命	1・2・3・4前	2						1	ビジネス中国語A	1・2・3・4前	2						1
	医科基礎生物学	1・2・3・4前	2						1	ビジネス中国語B	1・2・3・4前	2						1
	化学の歴史(※)	1・2・3・4後	2						1	国際文化情報B(韓国・朝鮮語圏)	1・2・3・4後	2						1
	ヒトと栄養と生命	1・2・3・4後	2						3	国際文化情報C(韓国・朝鮮語圏)	1・2・3・4前	2						1
	生体分子の世界	1・2・3・4前	2						1	国際文化情報D(韓国・朝鮮語圏)	1・2・3・4後	2						1
	生命情報の科学	1・2・3・4前	2						1	グローバル・アクティビティーA	1・2・3・4通年	2						1
	細胞生物学	1・2・3・4前	2						2	英語海外研修A	1・2・3・4前	2						1
	地域開発と水環境	1・2・3・4前	2						1	英語海外研修B	1・2・3・4後	2						1
	光環境と生物	1・2・3・4後	2						1	英語海外研修F(セントラルワシントン大学)	1・2・3・4前	2						1
	生物多様性と環境保全	1・2・3・4前	2						2	英語海外研修G(ヴァージニア・コモンスウェルス大学)	1・2・3・4後	2						1
	機械の歴史(※)	1・2・3・4後	2						1	英語海外研修H(ミシガン州立大学)	1・2・3・4後	2						1
	電気・通信技術の歩み	1・2・3・4後	2						1	異文化理解入門B	1・2・3・4前	2						2
	生態学入門	1・2・3・4前	2						1	異文化理解入門A	1・2・3・4後	2						1
	医科基礎化学	1・2・3・4前	2						1	フランス短期海外研修	1・2・3・4通年	2						2
	統計検定セミナー初級	1・2・3・4後	2						1	中国語海外研修A(北京大学)	1・2・3・4前	2						1
	医科基礎物理Ⅰ(※)	1・2・3・4前	2						1	中国語海外研修B(香港大学等)	1・2・3・4通年	2						1
	医科基礎物理Ⅱ(※)	1・2・3・4後	2						1	中国語海外研修C(北京語言大学)	1・2・3・4前	2						1
	分子細胞生物学Ⅰ	1・2・3・4前	2						1	中国語圏の歴史と文化	1・2・3・4通年	2						1
	分子細胞生物学Ⅱ	1・2・3・4後	2						1	韓国の文化と風土	1・2・3・4通年	2						1
	自然科学はじめの一歩	1・2・3・4前後	2						1	韓国・朝鮮語検定セミナーA	1後	2						1
	基礎物理・化学	1前	2					2		韓国の社会と文化A	1後	2						1
	数学基礎Ⅰ	1前	2						1	実践韓国・朝鮮語(読解・ライティング)A	1後	2						1
	数学基礎Ⅱ	1後	2						1	実践韓国・朝鮮語(会話)A	1後	2						1
	小計(45科目)	—								現代中国を読む	1・2・3・4後	2						1
入門科目 (学際分野)	スタートアップセミナー	1前	2						4	平和学	1・2・3・4後	2						11
	グローバル・チャレンジ:海外留学・インターン・ボランティアへの道筋	1・2・3・4前	2						1	英語リーディング(発展)(名称変更)	1後	2						1
	グローバル・イシュー:国際社会が抱える課題と対応	1・2・3・4後	2						1	リアルワールド・リスニング&スピーキング(名称変更)	1後	2						1
	大学生の学修と倫理	1・2・3・4前	2						2	英語ライティング(応用)(名称変更)	1前	2						1
	アントレプレナーシップ入門セミナー	1・2・3・4後	2						3	英語ライティング(発展)(名称変更)	1後	2						1
	オープンデータ分析A	1・2・3・4後	2						1	インターカルチュラル・アンダースタンディングB(名称変更)	1前	2						1
	オープンデータ分析B	1・2・3・4後	2						1	インターカルチュラル・アンダースタンディングA(名称変更)	1前	2						1
	小計(7科目)	—								グローバル・インタラクションB	1・2・3・4前	2						1
	芸術学セミナー	1・2・3・4前	2						1	グローバル・インタラクションA	1・2・3・4前	2						1

日本語の表現	1・2・3・4後	2							1	グローバル・リーダーシップ	1・2・3・4後	2								1
英米の文学	1・2・3・4前	2							1	グローバル・パースペクティブA	1・2・3・4前	2								1
アメリカ短篇小説を読む	1・2・3・4前	2							1	グローバル・パースペクティブB	1・2・3・4前	2								1
ヨーロッパの言語文化Ⅰ	1・2・3・4後	2							1	グローバル・アンダースタンディングB	1・2・3・4後	2								1
ヨーロッパの言語文化Ⅱ	1・2・3・4後	2							2	グローバル・アンダースタンディングA	1・2・3・4前	2								1
小説という楽しみ(※)	1・2・3・4後	2							1	インディビジュアル海外研修	1通	2								1
中国文学における風土と人間(※)	1・2・3・4後	2							1	グローバル・テーマセミナーA	1前	2								1
生涯発達心理学	1・2・3・4前	2							1	グローバル・テーマセミナーB	1後	2								1
異文化コミュニケーション入門A	1・2・3・4前	2							3	文化比較セミナーA	1前	2								1
異文化コミュニケーション入門B	1・2・3・4後	2							3	文化比較セミナーB	1前	2								1
初級英会話A	1・2・3・4前	2							3	キャリア&アイデンティティ	1前	2								1
初級英会話B	1・2・3・4後	2							3	カルチュラル・アイデンティティ	1後	2								1
グローバルビジネスコミュニケーションA	1・2・3・4前	2							3	行動科学	1・2・3・4前	2								1
グローバルビジネスコミュニケーションB	1・2・3・4後	2							1	グローバル・アクティビティーB	1・2・3・4通年	2								1
国際文化情報A(英語圏)	1・2・3・4前	2							1	グローバル・アクティビティーC	1・2・3・4通年	2								1
国際文化情報B(英語圏)	1・2・3・4後	2							1	グローバル・アクティビティーD	1・2・3・4通年	2								1
国際文化情報C(英語圏)	1・2・3・4前	2							2	グローバル・キャリアB	1・2・3・4後	2								1
国際文化情報D(英語圏)	1・2・3・4後	2							1	グローバル・キャリアA	1・2・3・4後	2								1
アカデミック・リスニングA	1・2・3・4前	2							1	コミュニケーション中国語A	1・2・3・4前	2								1
アカデミック・リスニングB	1・2・3・4後	2							4	コミュニケーション中国語B	1・2・3・4後	2								1
アカデミック・リーディングA	1・2・3・4前	2							3	中国言語文化論	1・2・3・4後	2								1
アカデミック・リーディングB	1・2・3・4後	2							3	環境の化学	1・2・3・4前	2								1
アカデミック・スピーキングA	1・2・3・4前	2							3	地球と人間生活	1・2・3・4前	2								1
アカデミック・スピーキングB	1・2・3・4後	2							3	地域開発と水環境	1・2・3・4前	2								1
アカデミック・ライティングA	1・2・3・4前	2							3	生物多様性と環境保全	1・2・3・4前	2								1
アカデミック・ライティングB	1・2・3・4後	2							3	アグリバイオビジネス概論	1・2・3・4後	2								1
上級TOEFLセミナーA	1・2・3・4前	2							1	自然環境の復元	1・2・3・4後	2								2
上級TOEFLセミナーB	1・2・3・4後	2							1	自然と語ろう	1・2・3・4前	2								4
中級英会話A	1・2・3・4前	2							1	グローバル・イシュー:国際社会が抱える課題と対応	1・2・3・4前	2								1
中級英会話B	1・2・3・4後	2							3	グローバル・チャレンジ:海外留学・インターン・ボランティアへの道筋	1・2・3・4後	2								1
グローバル・キャリア	1・2・3・4後	2							1	環境問題通論A	1・2・3・4前	2								5
グローバル・アンダースタンディングA	1・2・3・4後	2							1	環境問題通論B	1・2・3・4後	2								5
グローバル・アンダースタンディングB	1・2・3・4後	2							1	環境教育フィールド科学	1・2・3・4通年	2								1
クロスカルチュラル・アンダースタンディングA	1・2・3・4後	2							3	医療倫理・プロフェッショナルリズム	1・2・3・4後	2								14

国際文化情報D(韓国・朝鮮語圏)	1・2・3・4後	2						2	地域博物館へのいざない	1後	2							4
グローバル・アクティビティー	1・2・3・4通年	2						1	島根学	1・2・3・4後	2							1
グローバル・アクティビティーB	1・2・3・4前	2						1	ジオパーク学入門	1・2・3・4前	2							14
英語海外研修A	1・2・3・4前	2						2	ジオパーク学各論	1・2・3・4後	2							14
英語海外研修B	1・2・3・4後	2						2	ジオパーク学演習	2・3・4前	2							5
英語海外研修F(セントラルワシントン大学)	1・2・3・4前	2						1	地域医療学Ⅰ(名称変更)	1・2・3・4後	2							14
英語海外研修G(ヴァージニア・コモモンウェルス大学)	1・2・3・4前	2						1	観光地域経営論	1・2・3・4後	2							1
英語海外研修H(ミシガン州立大学)	1・2・3・4後	2						1	地域社会の生活と安全	1・2・3・4前	2							1
異文化理解入門	1・2・3・4後	2						1	CDPセミナー	1後	2							1
留学のための英語による教養基礎	1・2・3・4後	2						1	ボランティアと障がい者支援	1・2前	2							1
ビジネス英語海外研修	1・2・3・4前	2						1	障がい者支援の実践	1・2・3・4後	2							1
フランス短期海外研修	1・2・3・4通年	2						2	地域未来論	1・2・3・4後	2							3
大学で学ぶ世界史 講義編	1・2・3・4後	2						1	地域プロジェクト型実習	1・2・3・4前	2							1
大学で学ぶ世界史 探求編	1・2・3・4前	2						1	地域共創インターンシップA	2・3・4通年	2							2
アカデミック・ライティング	1・2前	2						1	地域共創インターンシップB	2・3・4後	2							2
むら興し・まち興し	3・4後	2						3	地域共創インターンシップC	2・3・4通年	4							1
中国語海外研修A(北京大学)	1・2・3・4前	2						1	観光実践	1・2・3・4通年	2							1
中国語海外研修C(北京言語大学)	1・2・3・4前	2						1	小計(33科目)	—								
中国の歴史と文化	1・2・3・4通年	2						4	芸術文化Ⅰ(音楽)	1前	2							1
韓国の文化と風土	1・2・3・4通年	2						1	芸術文化Ⅰ(美術)	1前	2							2
現代中国を読むⅠ	1・2・3・4後	2						1	芸術文化Ⅰ(島根の祭りと芸能)	1前	2							2
漢文史料を読む	1・2・3・4後	2						1	健康スポーツ	1前	2							4
平和学	1・2・3・4後	2						13	自己と世界	1・2・3・4前	2							1
働く人の法知識(※)	1・2・3・4後	2						4	心の世界	1・2・3・4前	2							1
株式会社の経営と法(※)	1・2・3・4前	2						1	心の不思議	1・2・3・4前	2							1
知的財産から見た法の世界(※)	1・2・3・4後	2						4	東アジアの歴史と文化	1・2・3・4前	2							1
医療から見た法の世界(※)	1・2・3・4前	2						4	日本語のしくみ	1・2・3・4後	2							1
弁護士が語る大学生のための法律問題(※)	1・2・3・4前	2						3	王朝の文学	1・2・3・4前	2							1
消費生活と法(※)	1・2・3・4後	2						1	日常生活と犯罪学	1・2・3・4前	2							1
行動科学	1・2・3・4前	2						1	教養としての政治	1・2・3・4前	2							1
小計(99科目)	—								現代経済へのアプローチ	1・2・3・4後	2							1
物理学入門セミナー	1・2・3・4前	2						2	基礎社会学Ⅰ	1・2・3・4前	2							1
物理学の世界	1・2・3・4後	2						1	知ることと生きること	1・2・3・4前	2							1
遺伝子を考える	1・2・3・4後	2						1	現代芸術の世界	1・2・3・4前	2							1

発展科目（自然科学分野）	山陰の自然史	1・2・3・4前	2						1	現代芸術の思想	1・2・3・4前	2						1
	自然環境の復元	1・2・3・4後	2						1	東アジアのことばと文学	1・2・3・4前	2						1
	自然と語ろう	1・2・3・4前	2						4	現代社会と法・人権	1・2・3・4後	2						1
	汽水域船上調査法実習	1・2・3・4後	2						5	考古学からみた韓半島の先史・古代文化	1・2・3・4前	2						1
	データ解析の数理	2・3・4後	2						3	大学教育論 -島根大学と社会-	1・2・3・4前	2						2
	物性科学のフロンティア(※)	1・2・3・4後	2						12	観光概論	1・2・3・4前	2						1
	たたらと現代製銅	3・4後	2						1	福祉の世界	1・2・3・4前	2						10
	生命現象	2・3・4前	2						12	芸術学セミナー	1・2・3・4前	2						1
	生命科学の世界	3・4前	2						14	生涯発達の心理学	1・2・3・4前	2						1
	汽水域の科学(入門編)	1・2・3・4前	2						13	大学で学ぶ世界史 講義編	1・2・3・4後	2						1
	汽水域の科学(応用編)	1・2・3・4後	2						6	大学で学ぶ世界史 探究編	1・2・3・4前	2						2
	情報と地域ーオープンソースと地域振興	2・3・4後	2						1	漢文史料を読む	1・2・3・4後	2						1
	Rubyプログラミング	3・4前	2						1	ベクトルと行列	1・2・3・4後	2						1
	開発フレームワーク(※)	1・2・3・4前	2							実用微分積分学Ⅱ	1・2・3・4後	2						1
	山陰地域の自然災害	1・2・3・4前	2						6	物理学で見る自然界の仕組みー力学・電磁気学と熱力学ー	1・2・3・4前	2						1
	食の守り方のあゆみ	1・2・3・4前	2						1	物理のための数学入門	1・2・3・4前	2						1
	食の守り方のあゆみB	1・2・3・4後	2						1	反応の化学	1・2・3・4後	2						1
地域医療・介護と地方創生	1・2・3・4前	2						1	高分子と有機分子の化学	1・2・3・4前	2						1	
小計(21科目)	ー								数・美・育・成・科・目・群	計測のはなし	1・2・3・4後	2					1	
発展科目（学際）	くらしの中の製作技術	1・2・3・4前	2						2	住まいの科学	1・2・3・4後	2						1
	くらしの中の製作技術	1・2・3・4後	2						2	動物の世界	1・2・3・4後	2						3
	海外研修・学習体験	1・2・3・4前 後	1						1	植物の世界	1・2・3・4前	2					3	
	人と職業	2・3・4後	2						1	物質と生命	1・2・3・4前	2						1
	中山間地域フィールド演習	2・3・4前	3						1	医科基礎生物学	1・2・3・4前	2						1
	酒ー一杯の酒から眠く学問の世界	1・3・4後	2						7	ヒトと栄養と生命	1・2・3・4後	2						3
	死と人間	3・4後	2						7	生体分子の世界	1・2・3・4前	2						1
	フィールドで学ぶ「斐伊川百科」	1・2・3・4前	2						17	生命情報の科学	1・2・3・4前	2						1
	地域博物館へのいざない	1後	2						4	光環境と生物	1・2・3・4後	2						1
	島根学	1・2・3・4後	2						1	生態学入門	1・2・3・4前	2						1
	環境問題通論A	1・2・3・4前	2						8	医科基礎化学	1・2・3・4前	2						1
	環境問題通論B	1・2・3・4後	2						9	基礎物理・化学	1前	2		1		1	2	
	環境教育フィールド科学	1・2・3・4前	2						2	数学基礎Ⅰ	1前	2				2		1
教育研究のための統計法	1・2・3・4前	2						3	数学基礎Ⅱ	1後	2				2		1	
ジオパーク学入門	1・2・3・4前	2						14	物理学入門セミナー	1・2・3・4前	2						2	

ビジネススキル入門	1・2・ 3・4前	2							1
課題解決人材入門：東京圏と島根 県の学生対流・対話による未来 の共創	1・2・ 3・4前	2							1
観光実践	1・2・ 3・4通 年	2							1
SDGs概論－歴史的な背景・理論 と実践に向けて－	1・2・ 3・4後	2							1
小計(24科目)	－								

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基 盤 科 目	材料エネルギー概論Ⅰ	1前	2			12	6	1	4		
	材料を学ぶための基礎物理	1前	2			1					
	材料を学ぶための基礎化学	1前	2				2				
	行列と行列式	1後	2								1
	材料エネルギー概論Ⅱ	1前	2			1					
	材料物理化学基礎	1後	2			1					
	プログラミング	1後	1				1		1		
	小計(7科目)	—									
	材料評価学	2後	2			1					
	資源循環化学	3前	2			1					
専 門 教 育 科 目	材料組織学	2前	2				1				1
	材料力学	2前	2				1				
	鉄鋼材料学	2後	2			1					
	材料強度学	2後	2			1					
	機能材料学	3前	2			1					2
	実用金属材料学	3前	1			1					
	材料物理化学	2前	2				2				
	有機材料化学	2前	2			1					
	無機固体材料化学	2前	2			1					
	高分子材料化学	2後	2			1					
	セラミックス化学	2後	2			1					
	化学工学	3前	2			1					
	マテリアルズ・インフォマティクス基礎	1後	1				1				1
	データ構造とアルゴリズム	2前	2			2					
	マテリアルズ・インフォマティクス応用	3前	2				1				1
	相平衡の熱力学と状態図入門	3前	2				1				1
	材料系エンジニアのためのエネルギー概論	1後	2			1					1
	カーボンニュートラル社会のための材料学	2前	2			1					1
	エネルギーシステムの持続的活用を実現する保全学	2後	2			1					2
	新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道	1通年	2			12	6	1	4		1
	地域創生論	2後	2			1					
	MOT・技術者倫理概論	2後	2								3
	確率・統計	2前	2								1
	外書講読	3後	2			12	6	1	4		
	基礎学生実験	2前	1			12	6	1	4		
	学生実験Ⅰ	2後	2			12	6	1	4		
	学生実験Ⅱ	3前	2			12	6	1	4		
	卒業研究Ⅰ	3後	2			11	6	1	4		
	卒業研究Ⅱ	4前	2			11	6	1	4		
	卒業研究Ⅲ	4後	4			11	6	1	4		
	経年損傷と材料の科学	2後		2			1				
	溶接・接合工学	3後	1			1					1
	塑性加工学	3後	1			1					1
	腐食防食学	3後	1			1					1
	材料電気化学	3後	1			1					
	未来を支えるエネルギー技術	3後	1			1					
	環境浄化材料概論	3後	2			1					
	粉体材料化学	3前	2			1					
	先端有機材料化学	3前	2			1					
	無機化学	3前	2								1
	分析化学	3前	2								1
	高分子化学	3前	2								1
	生体材料学	3前	2			1					
	生命工学概論	3前	2					1			
	溶融加工学	3前	2								1
	材料科学から社会を見る	1後	2			1					1
	材料工学のフロンティア	3後	2			1					
	NEXTAセミナー	1後	2			1					7
	Materials Science	2後	2				1				
	Introduction to high-temperature materials	4通	2			1					1
	Introduction for polymer colloids and interfaces	3後	1			1					1
	IoT・コンピュータ入門	2後	2				1				
	情報論	2後	2			1			1		
	機械学習	3前	2			1					
	情報セキュリティ	3前	2			1					
	材料系エンジニアのための経済事情論	3前	2			1					
	新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り	2・3通年	2			12	6	1	4		1

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基 盤 科 目	材料エネルギー概論Ⅰ	1前	2			12	6	1	6		3
	材料を学ぶための基礎物理	1前	2			1					1
	材料を学ぶための基礎化学	1前	2				2				
	行列と行列式	1後	2								1
	材料エネルギー概論Ⅱ	1後	2			1					
	材料物理化学基礎	1後	2			1					
	プログラミング	1後	1				1		1		
	小計(7科目)	—									
	材料評価学	2後	2			1					
	資源循環化学	3前	2			1					
専 門 教 育 科 目	材料組織学	2前	2				1				1
	材料力学	2前	2				1				
	鉄鋼材料学	2後	2			1					
	材料強度学	2後	2			1					
	機能材料学	3前	2			1					2
	実用金属材料学	3前	1			1					
	材料物理化学	2前	2				2				
	有機材料化学	2前	2			1					
	無機固体材料化学	2前	2			1					
	高分子材料化学	2後	2			1					
	セラミックス化学	2後	2			1					
	化学工学	3前	2			1					
	マテリアルズ・インフォマティクス基礎	1後	1				1				1
	データ構造とアルゴリズム	2前	2			2					
	マテリアルズ・インフォマティクス応用	3前	2				1				1
	相平衡の熱力学と状態図入門	3前	2				1				1
	材料系エンジニアのためのエネルギー概論	1後	2			1					1
	カーボンニュートラル社会のための材料学	2前	2			1					1
	エネルギーシステムの持続的活用を実現する保全学	2後	2			1					2
	新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道	1通年	2			13	6	1	4		2
	地域創生論	2後	2			1					
	MOT・技術者倫理概論	2後	2								3
	確率・統計	2前	2								1
	外書講読	3後	2			13	6	1	4		
	基礎学生実験	2前	1			13	6	1	4		
	学生実験Ⅰ	2後	2			13	6	1	4		
	学生実験Ⅱ	3前	2			13	6	1	4		
	卒業研究Ⅰ	3後	2			12	6	1	6		
	卒業研究Ⅱ	4前	2			12	6	1	6		
	卒業研究Ⅲ	4後	4			12	6	1	6		
	経年損傷と材料の科学	2後		2			1				
	溶接・接合工学	3後	1			1					1
	塑性加工学	3後	1			1					1
	腐食防食学	3後	1			1					1
	材料電気化学	3後	1			1					
	未来を支えるエネルギー技術	3後	1			1					
	環境浄化材料概論	3後	2			1					
	粉体材料化学	3前	2			1					
	先端有機材料化学	3前	2			1					
	無機化学	3前	2								1
	分析化学	3前	2								1
	高分子化学	3前	2								1
	生体材料学	3前	2			1					
	生命工学概論	3前	2					1			
	溶融加工学	3前	2								1
	材料科学から社会を見る	1後	2			1					1
	材料工学のフロンティア	3後	2			1					
	NEXTAセミナー	1後	2			1					7
	Materials Science	2後	2				1				
	Introduction to high-temperature materials	4通	2			1					1
	Introduction for polymer colloids and interfaces	3後	1			1					1
	IoT・コンピュータ入門	2後	2				1				
	情報論	2後	2			1			1		
	機械学習	3前	2			1					
	情報セキュリティ	3前	2			1					
	材料系エンジニアのための経済事情論	3前	2			1					
	新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り	2・3通年	2			12	6	1	4		1

	海外研修	3・4前後	1								
	企業実践プロジェクト演習	3・4前後	2								
	実践インターンシップ	3・4前後	2								
	小計(62科目)	—									
合計(362科目)											
卒業要件及び履修方法											
(卒業要件) 以下の履修方法に従って124単位以上修得すること。 (履修方法) 1.全学共通科目 ○基礎科目 14単位 ・初修外国語はドイツ語、フランス語、中国語及び韓国・朝鮮語の中から1つを選んで履修する。 ・「健康・スポーツ・文化・芸術」は健康・スポーツと文化・芸術のどちらか一方を選んで履修する。 ○教養育成科目 12単位 ・教養育成科目は、「入門科目」、「発展科目」、「社会人力養成科目」の中から人文社会科学分野の科目4単位、自然科学分野の科目4単位を含む計12単位分を履修する。 ただし、次の科目は必修科目とする。 「基礎物理・化学」、「数学基礎Ⅰ」、「数学基礎Ⅱ」 2.専門教育科目 ○基礎科目 13単位 ○専門教育科目 必修科目63単位 選択科目18単位 ○自由選択科目 4単位 ・基礎科目、教養育成科目、専門選択科目から選択して履修する。 (1学期における履修科目の登録の上限:25単位)											

	海外研修	3・4前後	1								
	企業実践プロジェクト演習	3・4前後	2								
	実践インターンシップ	3・4前後	2								
	小計(62科目)	—									
合計(355科目)											
卒業要件及び履修方法											
(卒業要件) 以下の履修方法に従って124単位以上修得すること。 (履修方法) 1.全学基礎教育科目 ○ユニバーサル科目群から外国語(英語、初修外国語)、SDGs入門、 島大STEAM科目群から情報科学、数理・データサイエンスへの誘いの 14単位 ・初修外国語はドイツ語、フランス語、中国語及び韓国・朝鮮語の中から1つを選んで履修する。 ○上記を除く島大STEAM科目群、ユニバーサル科目群、地域創生科目群、 教養育成科目群から 12単位 ・人文社会科学分野の科目4単位、自然科学分野の科目4単位を含む計12単位分を履修する。 ただし、次の科目は必修科目とする。 「基礎物理・化学」、「数学基礎Ⅰ」、「数学基礎Ⅱ」 2.専門教育科目 ○基礎科目 13単位 ○専門教育科目 必修科目63単位 選択科目18単位 ○自由選択科目 4単位 ・全学基礎教育科目、専門選択科目から選択して履修する。 (1学期における履修科目の登録の上限:25単位)											

【令和5年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置				兼任・ 兼担	
				必修	選択	自由	教 授 員	准 教 授 員	講 師	助 教		助 手
基礎科目	外国語 （英語）	英語ⅠA	1前	1								11
		英語ⅠB	1後	1								8
		英語ⅡA	1後	1								10
		英語ⅡB	2前	1								13
		英語ⅢA (English Interaction)	2後	1								1
		英語ⅢB (English Presentation)	3前	1								1
		英語Ⅳ	1・2・ 3・4前後	1								2
		小計(7科目)	—									
	外国語 （初修外国語）	ドイツ語Ⅰ ※	1前	2								3
		ドイツ語Ⅱ	1・2・ 3・4後	1								3
		フランス語Ⅰ ※	1前	2								2
		フランス語Ⅱ	1・2・ 3・4後	1								2
		中国語Ⅰ ※	1前	2								3
		中国語Ⅱ	1・2・ 3・4後	1								3
		韓国・朝鮮語Ⅰ ※	1前	2								2
		韓国・朝鮮語Ⅱ	1・2・ 3・4後	1								2
		(注)※印から必修科目として1科目を選択										
		小計(8科目)	—									
	健康・ 文化・ スポーツ ／ 芸術	健康スポーツ ※	1前	2								1
		芸術文化Ⅰ（音楽） ※	1・2前後	2								1
		芸術文化Ⅰ（美術） ※	1・2・3 前後	2								1
		芸術文化Ⅰ （島根の祭りと芸能） ※	1後	2								1
		(注)※印から必修科目として1科目を選択										
		小計(4科目)	—									
	情報 学報	情報科学	1前	2				1				1
		小計(1科目)	—									
	サ 数 理 エ ン ジ ニ ャ ー ス タ	数理・データサイエンスへの誘い	1・2・ 3・4前	2								3
		小計(1科目)	—									
		小計(21科目)	—									
		論理学	1・2・ 3・4前	2								1
		行為と価値	1・2・ 3・4後	2								1
		自己と世界	1・2・ 3・4前	2								1

入門科目 (人文社会科学分野)	心の世界	1・2・3・4前	2							1
	心の不思議(未開講)	1・2・3・4前	2							1
	日本人の宗教と死生観	1・2・3・4前	2							1
	東アジアの歴史と文化	1・2・3・4前	2							1
	小説の構造(※)	1・2・3・4前	2							1
	日本語のしくみ(未開講)	1・2・3・4後	2							1
	王朝の文学	1・2・3・4前	2							1
	生成文法入門	1・2・3・4前	2							1
	日常生活と犯罪学	1・2・3・4前	2							1
	教養としての政治	1・2・3・4前	2							1
	世界経済を見る眼	1・2・3・4前	2							1
	現代経済へのアプローチ	1・2・3・4後	2							1
	国際農村開発概論(未開講)	1・2・3・4後	2							1
	医療経済論(看護学科)(※)	1・2・3・4前	2							1
	地図の歴史	1・2・3・4前	2							1
	基礎社会学Ⅰ	1・2・3・4前	2							1
	知ることと生きること(未開講)	1・2・3・4前	2							1
	心の形成(※)	1・2・3・4前	2							2
	映像タイポグラフィ論(※)	1・2・3・4後	2							1
	現代芸術の世界(未開講)	1・2・3・4前	2							1
	現代芸術の思想	1・2・3・4前	2							1
	東アジアのことばと文学	1・2・3・4前	2							1
	英語と日本人(未開講)	1・2・3・4後	2							1
	古代出雲の考古学	1・2・3・4前	2							1
	山陰の歴史-古代・中世-	1・2・3・4後	2							1
	山陰の歴史-近世・近現代-	1・2・3・4前	2							2
	考古学からみた古代山陰の世界	1・2・3・4後	2							1
	企業と法(未開講)	1・2・3・4前	2							1
	現代社会と法・人権	1・2・3・4後	2							1
	情報化社会と経済	1・2・3・4前	2							1
	基礎社会学Ⅱ(未開講)	1・2・3・4前	2							1
	地域開発と環境	1・2・3・4前	2							1
	フランスの社会と文化	1・2・3・4前	2							1
	考古学からみた韓半島の先史・古代文化	1・2・3・4前	2							1

	山陰のことば	1・2・ 3・4前	2						1
	大学教育論－島根大学と社会－	1・2・ 3・4前	2						2
	観光概論(名称変更)	1・2・ 3・4前	2						2
	スタートアップ・イングリッシュ(名 称変更)	1・2・ 3・4前	1						1
	福祉の世界	1・2・ 3・4前	2						1
	問題解決の進め方	1・2・ 3・4前 後	2						1
	社会の産業と倫理	1・2・ 3・4前 後	2						1
	市民自治の知識と実践	1・2・ 3・4前 後	2						1
	小計(45科目)	—							
入 門 科 目 (自 然 科 学 分 野)	初級微分積分学Ⅰ(未開講)	1・2・ 3・4前	2						1
	初級微分積分学Ⅱ(未開講)	1・2・ 3・4後	2						3
	初級線形代数学Ⅰ(未開講)	1・2・ 3・4前	2						2
	ベクトルと行列(名称変更)	1・2・ 3・4後	2						2
	実用微分積分学Ⅰ	1・2・ 3・4前	2						1
	実用微分積分学Ⅱ	1・2・ 3・4後	2						1
	実用線形代数学Ⅰ	1・2・ 3・4前	2						1
	実用線形代数学Ⅱ	1・2・ 3・4後	2						1
	統計学入門(※)	1・2・ 3・4前	2						1
	実験データ解析入門	1・2・ 3・4後	2						1
	物理学で見る自然界の仕組み－ 力学・電磁気学と熱力学－	1・2・ 3・4前	2						1
	物理のための数学入門	1・2・ 3・4前	2						1
	反応の化学	1・2・ 3・4後	2						1
	環境の化学	1・2・ 3・4前	2						1
	生物有機化学	1・2・ 3・4前	2						1
	高分子と有機分子の化学	1・2・ 3・4前	2						1
	地球と人間生活	1・2・ 3・4前	2						1
	計測のはなし	1・2・ 3・4後	2						1
	住まいの科学	1・2・ 3・4後	2						1
	エレクトロニクスのはなし	1・2・ 3・4前	2						1
	動物の世界	1・2・3 後	2						3
	植物の世界	1・2・ 3・4前	2						1
	物質と生命	1・2・ 3・4前	2						1
	医科基礎生物学	1・2・ 3・4前	2						1
	化学の歴史(※)	1・2・ 3・4後	2						1

	ヒトと栄養と生命	1・2・ 3・4後	2						3
	生体分子の世界	1・2・ 3・4前	2						1
	生命情報の科学	1・2・ 3・4前	2						1
	細胞生物学	1・2・ 3・4前	2						2
	地域開発と水環境	1・2・ 3・4前	2						1
	光環境と生物	1・2・ 3・4後	2						1
	生物多様性と環境保全 (未開講)	1・2・ 3・4前	2						2
	機械の歴史 (※)	1・2・ 3・4後	2						1
	電気・通信技術の歩み	1・2・ 3・4後	2						1
	生態学入門	1・2・ 3・4前	2						1
	医科基礎化学	1・2・ 3・4前	2						1
	統計検定セミナー初級	1・2・ 3・4後	2						1
	医科基礎物理Ⅰ (※)	1・2・ 3・4前	2						1
	医科基礎物理Ⅱ (※)	1・2・ 3・4後	2						1
	分子細胞生物学Ⅰ	1・2・ 3・4前	2						1
	分子細胞生物学Ⅱ	1・2・ 3・4後	2						1
	アグリバイオビジネス概論	1・2・ 3・4 後	2						1
	自然科学はじめの一歩	1・2・ 3・4前 後	2						1
	基礎物理・化学	1前	2				2		
	数学基礎Ⅰ	1前	2						1
	数学基礎Ⅱ	1後	2						1
	小計(46科目)	—							
入門科目 (学際分野)	スタートアップセミナー	1前	2						2
	グローバル・チャレンジ: 海外留学・ インターン・ボランティアへの道筋 (未開講)	1・2・ 3・4前	2						1
	グローバル・イシュー: 国際社会が 抱える課題と対応	1・2・ 3・4後	2						1
	大学生の学修と倫理	1・2・ 3・4前	2						2
	アントレプレナーシップ入門セミ ナー	1・2・ 3・4後	2						2
	Exoelによるデータ分析入門	1・2・ 3・4 後	2						4
	小計(8科目)	—							
	芸術学セミナー	1・2・ 3・4前	2						1
	日本語の表現	1・2・ 3・4後	2						1
	英米の文学	1・2・ 3・4前	2						1
	アメリカ短篇小説を読む (未開講)	1・2・ 3・4前	2						1
	ヨーロッパの言語文化Ⅰ (未開講)	1・2・ 3・4後	2						1
	ヨーロッパの言語文化Ⅱ	1・2・ 3・4後	2						2
	小説という楽しみ (※)	1・2・ 3・4後	2						1
	中国文学における風土と人間 (※)	1・2・ 3・4後	2						1

教 養 育 成 科 目	生涯発達の心理学	1・2・ 3・4前	2							1
	異文化コミュニケーション入門A	1・2・ 3・4前	2							3
	異文化コミュニケーション入門B	1・2・ 3・4後	2							3
	初級英会話A	1・2・ 3・4前	2							3
	初級英会話B	1・2・ 3・4後	2							3
	グローバルビジネスコミュニケー ションA	1・2・ 3・4前	2							3
	グローバルビジネスコミュニケー ションB	1・2・ 3・4後	2						1	
	国際文化情報A(英語圏)	1・2・ 3・4前	2						1	
	国際文化情報B(英語圏)	1・2・ 3・4後	2						1	
	国際文化情報C(英語圏)(未開講)	1・2・ 3・4前	2						2	
	国際文化情報D(英語圏)(未開講)	1・2・ 3・4後	2						1	
	アカデミック・リスニングA	1・2・ 3・4前	2						1	
	アカデミック・リスニングB	1・2・ 3・4後	2						4	
	アカデミック・リーディングA	1・2・ 3・4前	2						3	
	アカデミック・リーディングB	1・2・ 3・4後	2						3	
	アカデミック・スピーキングA	1・2・ 3・4前	2						3	
	アカデミック・スピーキングB	1・2・ 3・4後	2						3	
	アカデミック・ライティングA	1・2・ 3・4前	2						3	
	アカデミック・ライティングB	1・2・ 3・4後	2						3	
	上級TOEFLセミナーA	1・2・ 3・4前	2						1	
	上級TOEFLセミナーB	1・2・ 3・4後	2						1	
	中級英会話A	1・2・ 3・4前	2						1	
	中級英会話B	1・2・ 3・4後	2						3	
	グローバル・キャリアA(未開講、名 称変更)	1・2・ 3・4後	2						1	
	グローバル・キャリアB	1・2・ 3・4 後	2						1	
	グローバル・アンダースタンディ ングA	1・2・ 3・4後	2						1	
	グローバル・アンダースタンディ ングB(未開講)	1・2・ 3・4後	2						1	
	クロスカルチュラル・アンダースタン ディングA	1・2・ 3・4後	2						3	
	クロスカルチュラル・アンダースタン ディングB(未開講)	1・2・ 3・4後	2						3	
	グローバル・インタラクションA	1・2・ 3・4前	2						2	
	グローバル・インタラクションB(未 開講)	1・2・ 3・4前	2						3	
	グローバル・バースペクティブA	1・2・ 3・4前	2						1	
	グローバル・バースペクティブB(未 開講)	1・2・ 3・4前	2						1	

発展科目 (人文社会科学分野)	上級TOEICセミナーⅠ	1・2・3・4前	2							1
	上級TOEICセミナーⅡ	1・2・3・4後	2							3
	グローバルリテラシーセミナーⅠ	1・2・3・4前	2							1
	グローバルリテラシーセミナーⅡ	1・2・3・4前	2							1
	グローバル・リーダーシップ	1・2・3・4後	2							1
	国際文化情報A(ドイツ語圏)	1・2・3・4前	2							1
	国際文化情報B(ドイツ語圏)	1・2・3・4後	2							1
	国際文化情報C(ドイツ語圏)(未開講)	1・2・3・4前	2							2
	国際文化情報D(ドイツ語圏)(未開講)	1・2・3・4後	2							2
	国際文化情報A(フランス語圏)	1・2・3・4前	2							1
	国際文化情報B(フランス語圏)	1・2・3・4後	2							1
	国際文化情報C(フランス語圏)(未開講)	1・2・3・4前	2							2
	国際文化情報D(フランス語圏)(未開講)	1・2・3・4後	2							2
	国際文化情報A(中国語圏)(未開講)	1・2・3・4前	2							1
	国際文化情報B(中国語圏)	1・2・3・4前	2							1
	中級中国語会話(未開講)	1・2・3・4後	2							1
	中国語音声セミナー(未開講)	1・2・3・4後	2							1
	中国留学セミナー(未開講)	1・2・3・4前	2							1
	中国語検定セミナー	1・2・3・4後	2							1
	中級中国語表現法(未開講)	1・2・3・4後	2							1
	現代中国語セミナーA	1・2・3・4前	2							2
	現代中国語セミナーB	1・2・3・4後	2							2
	中国語スキルアップセミナーA	1・2・3・4前	2							2
	中国語スキルアップセミナーB	1・2・3・4後	2							1
	ビジネス中国語A(未開講)	1・2・3・4後	2							1
	ビジネス中国語B(未開講)	1・2・3・4後	2							1
	コミュニケーション中国語A	1・2・3・4前	2							1
	コミュニケーション中国語B	1・2・3・4後	2							1
	中国言語文化論	1・2・3・4後	2							1
	国際文化情報A(韓国・朝鮮語圏)	1・2・3・4前	2							1
	国際文化情報B(韓国・朝鮮語圏)	1・2・3・4後	2							1
	国際文化情報C(韓国・朝鮮語圏)(未開講)	1・2・3・4前	2							2
	国際文化情報D(韓国・朝鮮語圏)(未開講)	1・2・3・4後	2							2

グローバル・アクティビティーA(未開講、名称変更)	1・2・3・4通年	2							1
グローバル・アクティビティーB(未開講)	1・2・3・4前	2							1
グローバル・アクティビティーC	1・2・3・4通年	2							1
グローバル・アクティビティーD	1・2・3・4通年	2							1
英語海外研修A(未開講)	1・2・3・4前	2							2
英語海外研修B	1・2・3・4後	2							2
英語海外研修F(セントラルワシントン大学)	1・2・3・4前	2							1
英語海外研修G(ヴァージニア・コモモンウェルス大学)	1・2・3・4前	2							1
英語海外研修H(ミシガン州立大学)	1・2・3・4後	2							1
異文化理解入門A(名称変更)	1・2・3・4後	2							1
異文化理解入門B	1・2・3・4前	2							2
留学のための英語による教養基礎(未開講)	1・2・3・4後	2							1
ビジネス英語海外研修(未開講)	1・2・3・4前	2							1
フランス短期海外研修	1・2・3・4通年	2							2
大学で学ぶ世界史 講義編	1・2・3・4後	2							1
大学で学ぶ世界史 探求編	1・2・3・4前	2							2
むら興し・まち興し(未開講)	3・4後	2							3
中国語海外研修A(北京大学)	1・2・3・4前	2							1
中国語海外研修C(北京言語大学)(未開講)	1・2・3・4前	2							1
中国の歴史と文化	1・2・3・4通年	2							4
韓国の文化と風土	1・2・3・4通年	2							1
現代中国を読む(名称変更)	1・2・3・4後	2							1
漢文史料を読む	1・2・3・4後	2							1
平和学	1・2・3・4後	2							10
働く人の法知識(※)	1・2・3・4後	2							4
株式会社の経営と法(※)	1・2・3・4前	2							1
知的財産から見た法の世界(※)	1・2・3・4後	2							4
医療から見た法の世界(※)	1・2・3・4前	2							4
弁護士が語る大学生のための法律問題(※)	1・2・3・4前	2							1
消費生活と法(※)	1・2・3・4後	2							1
行動科学	1・2・3・4前	2							1
小計(105科目)	—								
物理学入門セミナー	1・2・3・4前	2							2
物理学の世界	1・2・3・4後	2							1

発展科目 (自然科学分野)	遺伝子を考える	1・2・3・4後	2						1
	山陰の自然史	1・2・3・4前	2						1
	自然環境の復元	1・2・3・4後	2					3	
	自然と語ろう	1・2・3・4前	2						4
	汽水域船上調査法実習(未開講)	1・2・3・4後	2						5
	データ解析の数理	2・3・4後	2					1	
	物性科学のフロンティア(※)	1・2・3・4後	2						12
	たたらと現代製鋼	3・4後	2					6	
	生命現象(未開講)	2・3・4前	2						12
	生命科学の世界	3・4前	2					15	
	汽水域の科学(入門編)	1・2・3・4前	2					14	
	汽水域の科学(応用編)(未開講)	1・2・3・4後	2						6
	情報と地域ーオープンソースと地域振興	2・3・4後	2					8	
	Rubyプログラミング	3・4前	2					9	
	開発フレームワーク(※)	1・2・3・4前	2						
	山陰地域の自然災害	1・2・3・4前	2					7	
	食の守り方のあゆみ	1・2・3・4前	2						1
	食の守り方のあゆみB	1・2・3・4後	2						1
	地域医療と地方創生(名称変更)	1・2・3・4前	2						1
	小計(21科目)	—							
	海外研修・学習体験	1・2・3・4前後	1						1
	人と職業(未開講)	2・3・4後	2						1
	中山間地域フィールド演習(未開講)	2・3・4前	3						1
	酒——杯の酒から眼く学問の世界	1・3・4後	2						7
	死と人間	3・4後	2						7
	フィールドで学ぶ「斐伊川百科」	1・2・3・4前	2						17
	地域博物館へのいざない	1後	2						4
	島根学	1・2・3・4後	2						1
	環境問題通論A	1・2・3・4前	2						8
	環境問題通論B	1・2・3・4後	2						9
	環境教育フィールド科学	1・2・3・4前	2						2
	教育研究のための統計法	1・2・3・4前	2						3
	ジオパーク学入門	1・2・3・4前	2						14
	ジオパーク学各論	1・2・3・4後	2						14

	ジオパーク学演習	2・3・4 前	2								5
	ワークショップスキル入門(未開講) (地域の課題解決をめざして)	1・2・ 3・4後	2								1
	地域医療学	1・2・ 3・4後	2								12
	ものづくりと創造性(未開講)	1・2・ 3・4前	2								1
	グローバル課題解決型研修 (タイ:観光開発の現状と課題)(未開講)	1・2・ 3・4通 年	2								1
	イノベーション創成基礎セミナーⅠ	1前	2								3
	イノベーション創成基礎セミナーⅡ	2後	2								3
	グローバルイシュー実践海外研修	1・2・ 3・4通 年	2								1
	海外課題解決型就業体験プログラム	1・2・ 3・4通 年	2								1
	観光地域経営論(名称変更)	1・2・ 3・4後	2								1
	医療倫理・プロフェッショナルリズム	1・2・ 3・4前	2								13
	小計(25科目)	—									
社会 人 力 養 成 科 目	大学生の就職とキャリア(未開講)	1・2・3 後	2								1
	ジェンダー -性を科学する-	1・2・ 3・4後	2								12
	地域社会の生活と安全	1・2・ 3・4前	2								2
	出雲文化学(※)	1・2・ 3・4前	2								13
	ジャーナリズムと地域社会	1・2・ 3・4後	2								1
	島根の企業と経済	1・2・ 3・4前	2								1
	ボランティアと障がい者支援	1・2前	2								1
	障がい者支援の実際	1・2・ 3・4後	2								1
	地域未来論	1・2・ 3・4後	2								5
	地域プロジェクト型実習	1・2・ 3・4前	2								3
	地域共創インターンシップA	2・3・4 前	2								1
	地域共創インターンシップB(未開講)	2・3・4 後	2								1
	地域共創インターンシップC	2・3・4 通 年	4								1
	地域社会と法Ⅰ:知識編(※)	1・2・ 3・4前	2								1
	地域社会と法Ⅱ:実践編(※)	1・2・ 3・4後	2								1
	囲碁で学ぶ考える力	1・2・ 3・4後	2								1
	実例ビジネス開発論 ー社会構造の変化に対応する新しい価値の共創ー	1・2・ 3・4前	2								2
	ライフキャリアデザイン(名称変更)	1・2・ 3・4前 後	2								1
ビジネススキル入門(未開講)	1・2・ 3・4前	2								1	
観光実践	1・2・ 3・4通 年	2								1	
SDGs概論ー歴史的な背景・理論 と実践に向けてー	1・2・ 3・4後	2								1	
	小計(21科目)	—									
基	材料エネルギー概論Ⅰ	1前	2			9	6	1	3		5
	材料を学ぶための基礎物理	1前	2			1					1
	材料を学ぶための基礎化学	1前	2				2				

専 門 教 育 科 目	一 般 科 目	行列と行列式	1後	2								1
		材料エネルギー概論Ⅱ	1後	2			1					
		材料物理化学基礎	1後	2			1					
		プログラミング	1後	1				1		1		
		小計(7科目)	—									
		材料評価学	2後	2			1					
		資源循環化学	3前	2			1					
		材料組織学	2前	2				1				1
		材料力学	2前	2				1				
		鉄鋼材料学	2後	2			1					
		材料強度学	2後	2			1					
		機能材料学	3前	2			1					2
		実用金属材料学	3前	1			1					
		材料物理化学	2前	2				2				
		有機材料化学	2前	2			1					
		無機固体材料化学	2前	2			1					
		高分子材料化学	2後	2			1					
		セラミックス化学	2後	2			1					
		化学工学	3前	2			1					
		マテリアルズ・インフォマティクス基礎	1後	1				1				1
		データ構造とアルゴリズム	2前	2			2					
		マテリアルズ・インフォマティクス応用	3前	2				1				1
		相平衡の熱力学と状態図入門	3前	2				1				1
		材料系エンジニアのためのエネルギー概論	1後	2			1					1
		カーボンニュートラル社会のための材料学	2前	2			1					1
		エネルギーシステムの持続的活用を実現する保全学	2後	2			1					2
		新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道	1通年	2			9	6	1	3		2
		地域創生論	2後	2			1					
		MOT・技術者倫理概論	2後	2								3
		確率・統計	2前	2								1
		外書講読	3後	2								
		基礎学生実験	2前	1			12	6	1	4		
		学生実験Ⅰ	2後	2			12	6	1	4		
		学生実験Ⅱ	3前	2			12	6	1	4		
		卒業研究Ⅰ	3後	2			11	6	1	4		
		卒業研究Ⅱ	4前	2			11	6	1	4		
		卒業研究Ⅲ	4後	4			11	6	1	4		
		経年損傷と材料の科学	2後		2			1				
		溶接・接合工学	3後		1		1					1
		塑性加工学	3後		1		1					1
		腐食防食学	3後		1		1					1
		材料電気化学	3後		1		1					
		未来を支えるエネルギー技術	3後		1		1					
		環境浄化材料概論	3後		2		1					
		粉体材料化学	3前		2		1					
		先端有機材料化学	3前		2		1					
		無機化学	3前		2							1
		分析化学	3前		2							1
		高分子化学	3前		2							1
		生体材料学	3前		2		1					
		生命工学概論	3前		2				1			
		溶融加工学	3前		2							1
		材料科学から社会を見る	1後		2		1					1
		材料工学のフロンティア	3後		2		1					
		NEXTAセミナー	1後		2		1					7
		Materials Science	2後		2			1				
		Introduction to high-temperature materials	4通		2		1					1
		Introduction for polymer colloids and interfaces	3後		1		1					1
		IoT・コンピュータ入門	2後		2			1				
		情報論	2後		2		1			1		
		機械学習	3前		2		1					
		情報セキュリティ	3前		2		1					
		材料系エンジニアのための経済事情論	3前		2		1					
		新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り	2・3通年		2		12	6	1	4		1
		海外研修	3・4前後		1							
		企業実践プロジェクト演習	3・4前後		2							
		実践インターンシップ	3・4前後		2							
		小計(62科目)	—									

合計 (359科目)	—								
卒業要件及び履修方法									
(卒業要件) 以下の履修方法に従って124単位以上修得すること。 (履修方法) 1 全学共通科目 ○基礎科目 14単位 ・初修外国語はドイツ語、フランス語、中国語及び韓国・朝鮮語の中から1つを選んで履修する。 ・「健康・スポーツ／文化・芸術」は健康・スポーツと文化・芸術のどちらか一方を選んで履修する。 ○教養育成科目 12単位 ・「教養育成科目」は、「入門科目」、「発展科目」、「社会人力養成科目」の中から人文社会科学分野の科目4単位、自然科学分野の科目4単位を含む計12単位分を履修する。 ただし、次の科目は必修科目とする。 「基礎物理・化学」、「数学基礎Ⅰ」、「数学基礎Ⅱ」 2 専門教育科目 ○基礎科目 13単位 ○専門教育科目 必修科目63単位 選択科目18単位 ○自由選択科目 4単位 ・基礎科目、教養育成科目、専門選択科目から選択して履修する。 (1学期における履修科目の登録の上限:29単位)									

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任担当が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「**臨地実務実習**」による授業科目には「【臨】」、「**連携実務演習**」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
新制がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
(例：記載欄) 【認可時又は届出時】→【令和6年度】(新)→【令和5年度】(新)→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度】(旧)→【令和5年度】(旧)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

【教養育成科目】

授業内容の変更により、以下の変更を行った。

- ・「観光学入門」の名称を「観光概論」に変更。
- ・「スタートアップ・イングリッシュA」の名称を「スタートアップ・イングリッシュ」に変更。
- ・「初級線形代数Ⅱ」の名称を「ベクトルと行列」に変更。
- ・「グローバル・キャリア」の名称を「グローバル・キャリアA」及び「グローバル・キャリアB」に変更。
- ・「グローバル・アクティビティー」の名称を「グローバル・アクティビティーA」に変更。
- ・「異文化理解入門」の名称を「異文化理解入門A」に変更。
- ・「現代中国を読むI」の名称を「現代中国を読む」に変更。
- ・「地域医療・介護と地方創生」の名称を「地域医療と地方創生」に変更。
- ・「観光の展開―新しい観光の発掘―」の名称を「観光地域経営論」に変更。
- ・「地域プロジェクト型実習」の開講期を「後期」から「前期」に変更。
- ・「ライフキャリアデザインA」の名称を「ライフキャリアデザイン」に変更。

教養教育の充実のため、以下の科目の新規追加を行った。

- ・「アグリバイオビジネス概論」を新規追加。
- ・「Excelによるデータ分析入門」を新規追加。
- ・「コミュニケーション中国語A」及び「コミュニケーション中国語B」を新規追加。
- ・「中国言語文化論」を新規追加。
- ・「グローバル・アクティビティーC」及び「グローバル・アクティビティーD」を新規追加。
- ・「異文化理解入門B」を新規追加。

授業実施体制の見直しにより、以下の変更を行った。

- ・「英語ⅠＡ」の「兼任・兼任7」を「兼任・兼任11」に変更。
- ・「英語ⅠＢ」の「兼任・兼任6」を「兼任・兼任8」に変更。
- ・「英語ⅡＡ」の「兼任・兼任7」を「兼任・兼任10」に変更。
- ・「英語ⅡＢ」の「兼任・兼任7」を「兼任・兼任13」に変更。
- ・「フランス語Ⅰ」の「兼任・兼任1」を「兼任・兼任2」に変更。
- ・「フランス語Ⅱ」の「兼任・兼任1」を「兼任・兼任2」に変更。
- ・「中国語Ⅰ」の「兼任・兼任4」を「兼任・兼任3」に変更。
- ・「中国語Ⅱ」の「兼任・兼任4」を「兼任・兼任3」に変更。
- ・「韓国語・朝鮮語Ⅰ」の「兼任・兼任3」を「兼任・兼任2」に変更。
- ・「韓国語・朝鮮語Ⅱ」の「兼任・兼任3」を「兼任・兼任2」に変更。
- ・「スタートアップセミナー」の「兼任・兼任4」を「兼任・兼任2」に変更。
- ・「アントレプレナーシップ入門セミナー」の「兼任・兼任3」を「兼任・兼任2」に変更。
- ・「大学で学ぶ世界史 探求編」の「兼任・兼任1」を「兼任・兼任2」に変更。
- ・「平和学」の「兼任・兼任13」を「兼任・兼任10」に変更。
- ・「弁護士が語る大学生のための法律問題」の「兼任・兼任3」を「兼任・兼任1」に変更。
- ・「自然環境の復元」の「兼任・兼任1」を「兼任・兼任3」に変更。
- ・「データ解析の数理」の「兼任・兼任3」を「兼任・兼任1」に変更。
- ・「たたらと現代製鋼」の「兼任・兼任1」を「兼任・兼任6」に変更。
- ・「生命科学の世界」の「兼任・兼任14」を「兼任・兼任15」に変更。
- ・「汽水学の科学（入門編）」の「兼任・兼任13」を「兼任・兼任14」に変更。
- ・「情報と地域－オープンソースと地域振興」の「兼任・兼任1」を「兼任・兼任8」に変更。
- ・「Rubyプログラミング」の「兼任・兼任1」を「兼任・兼任9」に変更。
- ・「山陰地域の自然災害」の「兼任・兼任6」を「兼任・兼任7」に変更。
- ・「地域社会の生活と安全」の「兼任・兼任1」を「兼任・兼任2」に変更。
- ・「ジャーナリズムと地域社会」の「兼任・兼任1」を「兼任・兼任1」に変更。
- ・「実例ビジネス開発論－社会構造の変化に対応する新しい価値の共創－」の「兼任・兼任1」を「兼任・兼任2」に変更。

【專門教育科目】

採用予定教員（教授1名）の採用辞退、R6年度に着任予定の教員（教授1名）及びR8年度より専任教員（教授1名）となる教員がR5年度時点では兼任教員であることから、「材料エネルギー概論Ⅰ」の専任教員の配置を「教授12」から「教授9」とした。また、着任延期となった教員（助教1）がいるため、「助教4」を「助教3」とし、実施体制の見直しのため兼任教員が追加となり、「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更。

授業実施体制の見直しにより、「材料を学ぶための基礎物理」の「兼任・兼担0」から「兼任・兼担1」に変更。

カリキュラム見直しのため、「材料エネルギー概論Ⅰ」の開講期を「前期」から「後期」に変更。

採用予定教員（教授1名）の採用辞退、R6年度に着任予定の教員（教授1名）及びR8年度より専任教員（教授1名）となる教員がR5年度時点では兼任教員であることから、「新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道」の専任教員等の配置を「教授12」から「教授9」、「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」とした。また、着任延期と

【令和6年度】

【全学基礎教育科目】

全学の教養教育改革により、「全学共通科目」を「全学基礎教育科目」に変更。さらに、「全学基礎教育科目」の下に「島大 STEAM 科目群」「ユニバーサル科目群」「地域創生科目群」及び「教養育成科目群」の4つの科目群を設け、教養科目を再編。

以下の変更を行った。

- ・「ドイツ語I」の名称を「ドイツ語II(総合セミナー)」に、またその単位数を「1」から「2」に変更。
- ・「フランス語I」の名称を「フランス語II(総合セミナー)」に、またその単位数を「1」から「2」に変更。
- ・「中国語I」の名称を「中国語II(総合セミナー)」に、またその単位数を「1」から「2」に変更。
- ・「韓国・朝鮮語I」の名称を「韓国・朝鮮語II(総合セミナー)」に、またその単位数を「1」から「2」に変更。
- ・「グローバル・ビジネスコミュニケーションA」の名称を「英語ビジネスコミュニケーションA」に変更。
- ・「グローバル・ビジネスコミュニケーションB」の名称を「英語ビジネスコミュニケーションB」に変更。
- ・「上級TOEFLセミナーA」の名称を「TOEFLスコアアップセミナー」に変更。
- ・「中級英会話A」の名称を「実践英会話(応用)」に変更。
- ・「中級英会話B」の名称を「実践英会話(発展)」に変更。
- ・「異文化コミュニケーション入門A」の名称を「異文化コミュニケーションA」に変更。
- ・「異文化コミュニケーション入門B」の名称を「異文化コミュニケーションB」に変更。
- ・「グローバル・リテラシーセミナーI」の名称を「グローバル・リテラシーセミナーA」に変更。
- ・「グローバル・リテラシーセミナーII」の名称を「グローバル・リテラシーセミナーB」に変更。
- ・「上級TOEICセミナーI」の名称を「TOEICスコアアップセミナーA」に変更。
- ・「上級TOEICセミナーII」の名称を「TOEICスコアアップセミナーB」に変更。
- ・「初級英会話B」の名称を「実践英会話(基礎)」に変更。
- ・「中級中国語会話」の名称を「中国語会話(応用)」に変更。
- ・「中国語検定セミナー」の名称を「中国語検定セミナーA」に変更。
- ・「中級中国語表現法」の名称を「中国語表現法(応用)」に変更。
- ・「アカデミック・リーディングB」の名称を「英語リーディング(発展)」に変更。
- ・「アカデミック・スピーキングB」の名称を「リアルワールド・リスニング&スピーキング」に変更。
- ・「アカデミック・ライティングA」の名称を「英語ライティング(応用)」に変更。
- ・「アカデミック・ライティングB」の名称を「英語ライティング(発展)」に変更。
- ・「クロスカルチュラル・アンダースタANDINGB」の名称を「インターカルチュラル・アンダースタANDINGB」に変更。
- ・「クロスカルチュラル・アンダースタANDINGA」の名称を「インターカルチュラル・アンダースタANDINGA」に変更。
- ・「地域医療学」の名称を「地域医療学I」に変更。
- ・「中国語海外研修C(北京言語大学)」の名称を「中国語海外研修C(北京語言大学)」に修正。
- ・「中国の歴史と文化」の名称を「中国語圏の歴史と文化」に修正。
- ・「Rubyプログラミング」の開講期を「3・4前期」から「1・2・3・4前期」に変更。
- ・「イノベーション創成基礎セミナーII」の開講期を「2・3・4後期」から「1・2・3・4後期」に変更。
- ・「実践英会話(発展)」の開講期を「後期」から「前期」に変更。
- ・「中国留学セミナー」の開講期を「前期」から「後期」に変更。
- ・「ビジネス中国語A」の開講期を「後期」から「前期」に変更。
- ・「ビジネス中国語B」の開講期を「後期」から「前期」に変更。
- ・「英語海外研修G(ヴァージニア・コモンウェルス大学)」の開講期を「前期」から「後期」に変更。
- ・「グローバル・アンダースタANDINGA」の開講期を「後期」から「前期」に変更。
- ・「グローバル・イシュー：国際社会が抱える課題と対応」の開講期を「後期」から「前期」に変更。
- ・「グローバル・チャレンジ：海外留学・インターン・ボランティアへの道筋」の開講期を「前期」から「後期」に変更。
- ・「環境教育フィールド科学」の開講期を「前期」から「通年」に変更。
- ・「医療倫理・プロフェッショナリズム」の開講期を「前期」から「後期」に変更。
- ・「グローバル課題解決型研修(タイ：観光開発の現状と課題)」の開講期を「通年」から「後期」に変更。
- ・「グローバルイシュー実践海外研修」の開講期を「通年」から「後期」に変更。
- ・「海外課題解決型就業体験プログラム」の開講期を「通年」から「後期」に変更。
- ・「汽水域船上調査実習」の開講期を「後期」から「前期」に変更。
- ・「たたらと現代製鋼」の開講期を「3・4後期」から「1・2・3・4後期」に変更。
- ・「山中間地域フィールド演習」の開講期を「2・3・4前期」から「1・2・3・4前期」に、またその単位数を「3」から「2」に変更。
- ・「地域共創インターンシップ」の開講期を「前期」から「通年」に変更。
- ・「芸術文化I(音楽)」の開講期を「1・2前後」から「1前」に変更。
- ・「芸術文化I(美術)」の開講期を「1・2・3前後」から「1前」に変更。
- ・「芸術文化I(島根の祭りと芸能)」の開講期を「1後」から「1前」に変更。
- ・「酒一杯の酒から覗く学問の世界」の開講期を「1・3・4後」から「3・4後」に修正。

以下の科目の新規追加を行った。

- ・「数理・データサイエンス活用」を新規追加。
- ・「Excelによるデータ分析応用」を新規追加。
- ・「プロジェクトデザイン」を新規追加。
- ・「クリティカルシンキング」を新規追加。
- ・「建築のかたちと力の流れ」を新規追加。
- ・「SDGs入門」を新規追加。
- ・「地理学から領土問題を考える」を新規追加。
- ・「実践ドイツ語(会話)A」を新規追加。
- ・「実践ドイツ語(会話)B」を新規追加。
- ・「実践ドイツ語(読解・ライティング)A」を新規追加。
- ・「ドイツ語検定セミナーA」を新規追加。
- ・「フランス語検定セミナーA」を新規追加。
- ・「実践フランス語(会話)A」を新規追加。
- ・「実践フランス語(読解・ライティング)A」を新規追加。
- ・「国際連携中国語セミナーA」を新規追加。
- ・「国際連携中国語セミナーB」を新規追加。
- ・「中国語海外研修B(香港大学等)」の記載が漏れていたことから改めて追加修正。
- ・「韓国・朝鮮語検定セミナーA」を新規追加。
- ・「韓国の社会と文化A」を新規追加。
- ・「実践韓国・朝鮮語(読解・ライティング)A」を新規追加。
- ・「実践韓国・朝鮮語(会話)A」を新規追加。
- ・「インディビジュアル海外研修」を新規追加。
- ・「グローバル・テーマセミナーA」を新規追加。
- ・「グローバル・テーマセミナーB」を新規追加。
- ・「文化比較セミナーA」を新規追加。
- ・「文化比較セミナーB」を新規追加。
- ・「キャリア&アイデンティティ」を新規追加。
- ・「カルチュラル・アイデンティティ」を新規追加。
- ・「日本語上級A、B、C、D、E」及び「日本事情A、B」を留学生対象科目として新規追加。
- ・「CDPセミナー」を新規追加。
- ・「クロス教育基礎論」を新規追加。

授業実施体制の見直しにより、以下の変更を行った。

- ・「実験データ解析入門」の「兼任・兼担1」を「兼任・兼担2」に変更。
- ・「細胞生物学」の「兼任・兼担2」を「兼任・兼担4」に変更。
- ・「情報と地域－オープンソースと地域振興」の「兼任・兼担1」を「兼任・兼担7」に変更。
- ・「Rubyプログラミング」の「兼任・兼担1」を「兼任・兼担5」に変更。
- ・「イノベーション創成基礎セミナーⅠ」の「兼任・兼担3」を「兼任・兼担1」に変更。
- ・「イノベーション創成基礎セミナーⅡ」の「兼任・兼担3」を「兼任・兼担1」に変更。
- ・「英語ⅠB」の「兼任・兼担6」を「兼任・兼担7」に変更。
- ・「英語ⅡA」の「兼任・兼担7」を「兼任・兼担8」に変更。
- ・「フランス語Ⅰ」の「兼任・兼担1」を「兼任・兼担2」に変更。
- ・「フランス語Ⅱ」の「兼任・兼担1」を「兼任・兼担2」に変更。
- ・「中国語Ⅰ」の「兼任・兼担4」を「兼任・兼担2」に変更。
- ・「スタートアップ・イングリッシュ」の「兼任・兼担1」を「兼任・兼担4」に変更。
- ・「ヨーロッパの言語文化Ⅱ」の「兼任・兼担2」を「兼任・兼担1」に変更。
- ・「英語ビジネスコミュニケーションA」の「兼任・兼担3」を「兼任・兼担1」に変更。
- ・「実践英会話（発展）」の「兼任・兼担3」を「兼任・兼担1」に変更。
- ・「異文化コミュニケーションA」の「兼任・兼担3」を「兼任・兼担1」に変更。
- ・「異文化コミュニケーションB」の「兼任・兼担3」を「兼任・兼担1」に変更。
- ・「TOEIC スコアアップセミナーB」の「兼任・兼担3」を「兼任・兼担1」に変更。
- ・「実践英会話（基礎）」の「兼任・兼担3」を「兼任・兼担1」に変更。
- ・「国際文化情報C（ドイツ語圏）」の「兼任・兼担2」を「兼任・兼担1」に変更。
- ・「国際文化情報D（ドイツ語圏）」の「兼任・兼担2」を「兼任・兼担1」に変更。
- ・「国際文化情報C（フランス語圏）」の「兼任・兼担2」を「兼任・兼担1」に変更。
- ・「国際文化情報D（フランス語圏）」の「兼任・兼担2」を「兼任・兼担1」に変更。
- ・「現代中国語セミナーA」の「兼任・兼担2」を「兼任・兼担1」に変更。
- ・「現代中国語セミナーB」の「兼任・兼担2」を「兼任・兼担1」に変更。
- ・「中国語スキルアップセミナーA」の「兼任・兼担2」を「兼任・兼担1」に変更。
- ・「国際文化情報C（韓国・朝鮮語圏）」の「兼任・兼担2」を「兼任・兼担1」に変更。
- ・「国際文化情報D（韓国・朝鮮語圏）」の「兼任・兼担2」を「兼任・兼担1」に変更。
- ・「英語海外研修A」の「兼任・兼担2」を「兼任・兼担1」に変更。
- ・「英語海外研修B」の「兼任・兼担2」を「兼任・兼担1」に変更。
- ・「中国語圏の歴史と文化」の「兼任・兼担4」を「兼任・兼担1」に変更。
- ・「平和学」の「兼任・兼担13」を「兼任・兼担11」に変更。
- ・「英語リーディング（発展）」の「兼任・兼担3」を「兼任・兼担1」に変更。
- ・「リアルワールド・リスニング&スピーキング」の「兼任・兼担3」を「兼任・兼担1」に変更。
- ・「英語ライティング（応用）」の「兼任・兼担3」を「兼任・兼担1」に変更。
- ・「英語ライティング（発展）」の「兼任・兼担3」を「兼任・兼担1」に変更。
- ・「インターカルチュラル・アンダースタンディングB」の「兼任・兼担3」を「兼任・兼担1」に変更。
- ・「インターカルチュラル・アンダースタンディングA」の「兼任・兼担3」を「兼任・兼担1」に変更。
- ・「グローバル・インタラクションB」の「兼任・兼担3」を「兼任・兼担1」に変更。
- ・「グローバル・インタラクションA」の「兼任・兼担2」を「兼任・兼担1」に変更。
- ・「生物多様性と環境保全」の「兼任・兼担2」を「兼任・兼担1」に変更。
- ・「自然環境の復元」の「兼任・兼担1」を「兼任・兼担2」に変更。
- ・「環境問題通論A」の「兼任・兼担8」を「兼任・兼担5」に変更。
- ・「環境問題通論B」の「兼任・兼担9」を「兼任・兼担5」に変更。
- ・「環境教育フィールド科学」の「兼任・兼担2」を「兼任・兼担1」に変更。
- ・「医療倫理・プロフェッショナリズム」の「兼任・兼担13」を「兼任・兼担14」に変更。
- ・「汽水域船上調査法実習」の「兼任・兼担5」を「兼任・兼担1」に変更。
- ・「たたらと現代製鋼」の「兼任・兼担1」を「兼任・兼担4」に変更。
- ・「汽水域の科学（応用編）」の「兼任・兼担6」を「兼任・兼担4」に変更。
- ・「フィールドで学ぶ「斐伊川百科」」の「兼任・兼担17」を「兼任・兼担16」に変更。
- ・「地域医療学Ⅰ」の「兼任・兼担12」を「兼任・兼担14」に変更。
- ・「地域未来論」の「兼任・兼担5」を「兼任・兼担3」に変更。
- ・「地域プロジェクト型実習」の「兼任・兼担3」を「兼任・兼担1」に変更。
- ・「地域共創インターンシップA」の「兼任・兼担1」を「兼任・兼担2」に変更。
- ・「地域共創インターンシップB」の「兼任・兼担1」を「兼任・兼担2」に変更。
- ・「芸術文化Ⅰ（美術）」の「兼任・兼担1」を「兼任・兼担2」に変更。
- ・「芸術文化Ⅰ（島根の祭りや芸能）」の「兼任・兼担1」を「兼任・兼担2」に変更。
- ・「健康スポーツ」の「兼任・兼担1」を「兼任・兼担4」に変更。
- ・「観光概論」の「兼任・兼担2」を「兼任・兼担1」に変更。
- ・「福祉の世界」の「兼任・兼担1」を「兼任・兼担10」に変更。
- ・「ベクトルと行列」の「兼任・兼担2」を「兼任・兼担1」に変更。
- ・「植物の世界」の「兼任・兼担1」を「兼任・兼担3」に変更。
- ・「基礎物理・化学」の「専任教員等の配置」に「教授1」「講師1」を追加。
- ・「数学基礎Ⅰ」の「専任教員等の配置」に「助教2」を追加。
- ・「数学基礎Ⅱ」の「専任教員等の配置」に「助教2」を追加。
- ・「物理学の世界」の「兼任・兼担1」を「兼任・兼担13」に変更。
- ・「生命現象」の「兼任・兼担12」を「兼任・兼担14」に変更。
- ・「死と人間」の「兼任・兼担7」を「兼任・兼担6」に変更。
- ・「酒一杯の酒から覗く学問の世界」の「兼任・兼担7」を「兼任・兼担10」に変更。
- ・「ジェンダー 一性を科学する一」の「兼任・兼担12」を「兼任・兼担11」に変更。

【専門教育科目】

- ・R5年4月の着任が延期となった専任教員（助教1名）及びR5年度に専任教員（助教2名）を採用したことから、「材料エネルギー概論Ⅰ」の専任教員等の配置を「助教4」から「助教6」に変更。実施体制を見直し、先端金属材料の研究拠点「次世代たたら協創センター」からの兼任教員を加えたことにより、「兼任・兼担0」から「兼任・兼担3」に変更。
- ・R5年10月及びR6年4月にそれぞれ専任教員（教授1名）を採用したことから、「新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道」、「基礎学生実験」、「学生実験Ⅰ」及び「学生実験Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授12」から「教授13」に変更。
- ・R5年10月及びR6年4月にそれぞれ専任教員（教授1名）を、またR5年4月の着任が延期となった専任教員（助教1名）及びR5年度に専任教員（助教2名）を採用したことから、「卒業研究Ⅰ」、「卒業研究Ⅱ」及び「卒業研究Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授11」から「教授12」に、また「助教4」から「助教6」に変更。

- (注) ・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
58 科目	304 科目	0 科目	362 科目	55 科目 △3	300 科目 △4	0 科目 []	355 科目 △7	【必修科目の変更について】 全学の教養改革に伴い、令和6年度入学生から「健康・スポーツ／文化・芸術」の4科目が必修から選択へ変更。また、「SDGs入門」1科目が必修へ追加。

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	異文化との出会い	2	1・2・3・4 後	一般	選択	本科目の内容が「大学で学ぶ世界史 講義編」「大学で学ぶ世界史 探求編」に再編されたため。「異文化との出会い」分の受講生の受け入れ可能。
2	日本経済を見る眼	2	1・2・3・4 前	一般	選択	教養育成科目の入門科目（人文社会科学分野）「地域開発と環境」の授業内容と同一のため。
3	国際化のなかの地域経済	2	1・2・3・4 後	一般	選択	生物資源科学部専門教育科目のマクロ経済学に統合するため。当該科目は全学開放科目のため、当該以外の学部生も自由科目として受講可能。
4	オープンデータ分析A	2	1・2・3・4 後	一般	選択	総合理工学部専門教育科目の「データサイエンス基礎」に統合するため。当該科目は全学開放科目のため、当該学部以外の学生も自由科目として受講可能。
5	オープンデータ分析B	2	1・2・3・4 後	一般	選択	総合理工学部専門教育科目の「データサイエンス基礎」に統合するため。当該科目は全学開放科目のため、当該学部以外の学生も自由科目として受講可能。
6	教育から地域を魅せる	2	1・2・3・4 前	一般	選択	本科目は、特別経費事業として平成 28 年度に開始したリカレント教育「ふるさと魅力化フロンティア養成コース」の取り組み成果を活かし、学部学生向けに授業科目を開発・提供してきたものであるが、事業期間の終了にともない、令和元年以降は不開講が続いており、今後も開講できる見込みがないため。なお、本授業科目で用いていたプロジェクト学修の方法については、「スタートアップセミナー」に取り入れて継続的に実施している。

7	くらしの中の製作技術	2	1・2・3・4 前	一般	選択	本授業を担当していた非常勤講師が雇用 上限年齢75歳を超えたため雇用の継続 ができず、他に担当可能な教員がいない ため。
8	くらしの中の製作技術	2	1・2・3・4 後	一般	選択	本授業を担当していた非常勤講師が雇用 上限年齢75歳を超えたため雇用の継続 ができず、他に担当可能な教員がいない ため。
9	アカデミック・ライ ティング	2	1・2前	一般	選択	初年次学生向けに、論理的思考力・情報 収集能力・書く力の修得を目指す授業と して開講してきたが、「スタートアップ セミナー」や各学部で開講する初年次生 向け授業で代替可能なため。
10	地域社会体験Ⅰ	2	1・2・3・4 前後	一般	選択	本科目は、平成24年度に開始した文部 科学省大学間連携共同教育推進事業「大 学と地域社会を結ぶ大学間連携ソーシャ ルラーニング」の一環として開発・実施 していたものであるが、事業終了後、 2017年度以降は不開講の状態にあり、 今後も再開できる見込みがないため。
11	地域社会体験Ⅱ	1	1・2・3・4 前後	一般	選択	本科目は、平成24年度に開始した文部 科学省大学間連携共同教育推進事業「大 学と地域社会を結ぶ大学間連携ソーシャ ルラーニング」の一環として開発・実施 していたものであるが、事業終了後、 2017年度以降は不開講の状態にあり、 今後も再開できる見込みがないため。
12	課題解決人材入門：東 京圏と島根県の学生の 対流・対話による未来 の共創	2	1・2・3・4 前	一般	選択	本科目は、令和元年開始の内閣府の地方 創生支援事業費補助金「地方と東京圏の 大学生対流促進事業」において、大正大 学を主幹校として採択された「フィール ドから学ぶ産官学協働3大学地域人材育 成プロジェクト」の授業科目として開 発・実施してきたものであるが、令和3 年度の事業期間終了にともない、連携校 間の授業提供も終了したため。
13	英語と日本人	2	1・2・3・4 後	一般	選択	全学の教養教育改革に伴い廃止したた め。
14	ものづくりと創造性	2	1・2・3・4 前	一般	選択	全学の教養教育改革に伴い廃止したた め。
15	アメリカ短編小説を読 む	2	1・2・3・4 前	一般	選択	全学の教養教育改革に伴い廃止したた め。
16	留学のための英語によ る教養基礎	2	1・2・3・4 後	一般	選択	全学の教養教育改革に伴い廃止したた め。
17	ビジネス英語海外研修	2	1・2・3・4 前	一般	選択	全学の教養教育改革に伴い廃止したた め。
18	国際農村開発概論	2	1・2・3・4 後	一般	選択	全学の教養教育改革に伴い廃止したた め。
19	企業と法	2	1・2・3・4 前	一般	選択	全学の教養教育改革に伴い廃止したた め。
20	基礎社会学Ⅱ	2	1・2・3・4 前	一般	選択	全学の教養教育改革に伴い廃止したた め。
21	初級微分積分学Ⅰ	2	1・2・3・4 前	一般	選択	全学の教養教育改革に伴い廃止したた め。

2 2	初級微分積分学II	2	1・2・3・4 後	一般	選択	全学の教養教育改革に伴い廃止したため。
2 3	初級線形代数学I	2	1・2・3・4 前	一般	選択	全学の教養教育改革に伴い廃止したため。
2 4	日本人の宗教と死生観	2	1・2・3・4 前	一般	選択	全学の教養教育改革に伴い廃止したため。
2 5	むら興し・まち興し	2	3・4後	一般	選択	全学の教養教育改革に伴い廃止したため。
2 6	ワークショップスキル 入門（地域の課題解決 をめざして）	2	1・2・3・4 後	一般	選択	全学の教養教育改革に伴い廃止したため。
2 7	ジャーナリズムと地域 社会	2	1・2・3・4 後	一般	選択	全学の教養教育改革に伴い廃止したため。
2 8	島根の企業と経済	2	1・2・3・4 前	一般	選択	全学の教養教育改革に伴い廃止したため。
2 9	初級英会話A	2	1・2・3・4 前	一般	選択	全学の教養教育改革に伴い廃止したため。
3 0	アカデミック・リス ニングA	2	1・2・3・4 前	一般	選択	全学の教養教育改革に伴い廃止したため。
3 1	アカデミック・リス ニングB	2	1・2・3・4 後	一般	選択	全学の教養教育改革に伴い廃止したため。
3 2	アカデミック・リー ディングA	2	1・2・3・4 前	一般	選択	全学の教養教育改革に伴い廃止したため。
3 3	アカデミック・スピー キングA	2	1・2・3・4 前	一般	選択	全学の教養教育改革に伴い廃止したため。
3 4	上級TOEFLセミナーB	2	1・2・3・4 後	一般	選択	全学の教養教育改革に伴い廃止したため。
3 5	英語IV	1	1・2・3・4 前後	一般	選択	全学の教養教育改革に伴い廃止したため。
3 6	海外研修・学習体験	1	1・2・3・4 前後	一般	選択	全学の教養教育改革に伴い廃止したため。

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講、廃止科目はいずれも教養育成科目（一般教養・選択科目）であり、新規開講科目を含め、科目群全体で十分な科目数が確保できるよう調整しているため学生への影響は少ないと考える。

また、学生には年度当初に公開する授業科目一覧に明記することで周知している。急遽未開講になった場合は、学務情報システムの掲示板機能により周知を行っている。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{36}{362} = \boxed{9.94} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体			
	校 舎 敷 地	261,438㎡	0㎡	0㎡	261,438㎡				
	運動場用地	90,630㎡	0㎡	0㎡	90,630㎡				
	小 計	352,068㎡	0㎡	0㎡	352,068㎡				
	そ の 他	6,126,723㎡	0㎡	0㎡	6,126,723㎡				
	合 計	6,478,791㎡	0㎡	0㎡	6,478,791㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体			
		137,677㎡ (137,677㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	137,677㎡ (137,677 ㎡)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 材料エネルギー学部棟新 宮工事に伴う、講義室・ 実習室の移転による増減 のため(6)		
		129 124室	63室	320 324室	8室 (補助職員 人)	3室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数		専任教員新規 採用のため(6)		
		材料エネルギー学部 材料エネルギー学科			22 21 室				
(5)図書・設備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体 購入及び除籍による増減 のため(6)	
		材料エネルギー 学部	984,913 [220,672] 982,961 [221,454] (984,913 [220,672]) (982,961 [221,454])	12,101 [2,896] 16,879 [6,626] (12,101 [2,896]) (16,879 [6,626])	5,314 [3,753] 5,382 [3,740] (5,314 [3,753]) (5,382 [3,740])	4,045 (4,045)	30,833 (30,833)		19 (19)
	計	984,913 [220,672] 982,961 [221,454] (984,913 [220,672]) (982,961 [221,454])	12,101 [2,896] 16,879 [6,626] (12,101 [2,896]) (16,879 [6,626])	5,314 [3,753] 5,382 [3,740] (5,314 [3,753]) (5,382 [3,740])	4,045 (4,045)	30,833 (30,833)	19 (19)		
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		レイアウトを見直したた め(6)	
		8,645㎡		730 763		911,444			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
		3,915㎡		野 球 場 2 面 テ ニ ス コ ー ト 15 面					
(8)経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見 積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
		共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当 り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学 の 名 称	島 根 大 学							収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	1
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考
法学部	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
法経学科	4	175	3年次10	740	学 士 (法経)	1.08	-		平成16	島根県松江市西川津町1060	令和5年度入学定員減(4人)
社会文化学科	4	76		312	学 士 (社会科学)	1.07	-		平成16	同上	令和5年度入学定員減(3人)
言語文化学科	4	47		194	学 士 (文学)	1.12	-		平成16	同上	令和5年度入学定員減(3人)
教育学部	4	52		214	学 士 (教育学)	1.18	1.11		平成16	同上	
学校教育課程	4	130		520	学 士 (教育学)	1.11	1.07		平成16	島根県松江市西川津町1060	
人間科学部	4	130		520	学 士 (人間科学)	1.08	-		平成29	島根県松江市西川津町1060	
人間科学科	4	80		320	学 士 (医学)	1.08	-		令和6	島根県松江市西川津町1060	
医学部	4～6	80		320	学 士 (看護学)	1.02	-		平成15	島根県松江市西川津町1060	
医学科	6	162	2年次5	657	学 士 (看護学)	1.02	-		平成15	島根県松江市西川津町1060	
看護学科	4	102	3年次5	657	学 士 (看護学)	1.02	-		平成15	島根県松江市西川津町1060	
総合理工学部	4	60		240	学 士 (総合理工学)	1.02	-		平成15	同上	
物理工学科	4	370		1564	学 士 (総合理工学)	1.07	1.03		平成30	島根県松江市西川津町1060	令和5年度入学定員減(13人)・名称変更
物質化学科	4	60	3年次2	270	学 士 (総合理工学)	1.03	0.99		平成30	同上	令和5年度入学定員減(13人)
地球科学科	4	60	3年次2	270	学 士 (総合理工学)	1.07	1.01		平成30	同上	
数理科学科	4	50	3年次1	202	学 士 (総合理工学)	1.03	0.99		平成30	同上	令和5年度入学定員減(4人)
知能情報デザイン学科	4	46	3年次1	194	学 士 (総合理工学)	1.04	0.98		平成30	同上	
機械・電気電子工学科	4	50	3年次2	204	学 士 (総合理工学)	1.09	1.06		平成30	同上	
建築デザイン学科	4	64	3年次2	260	学 士 (総合理工学)	1.10	1.06		平成30	同上	
材料エネルギー学部	4	40	3年次2	164	学 士 (総合理工学)	1.12	1.09		平成30	同上	
材料エネルギー学科	4	80		160	学 士 (工学)	1.05	-		令和5	島根県松江市西川津町1060	
生物資源科学部	4	80	3年次5	160	学 士 (生物資源科学)	1.05	-		令和5	島根県松江市西川津町1060	
生命科学科	4	200		830	学 士 (生物資源科学)	1.06	-		平成30	島根県松江市西川津町1060	
農林生産学科	4	70	3年次3	286	学 士 (生物資源科学)	1.04	-		平成30	同上	
環境共生科学科	4	60	3年次9	258	学 士 (生物資源科学)	1.06	-		平成30	同上	
環境共生科学科	4	70	3年次3	286	学 士 (生物資源科学)	1.09	-		平成30	同上	
大学全体	4～6	1197	52	5031	—	—	—	—	—	—	

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
- なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
 - ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 - ・履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 - 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
 - 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 - なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず赤字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を赤字にする必要はありません。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 - ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

＜材料エネルギー学部 材料エネルギー学科＞

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和5年度】

【令和6年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	ミハラ ツヨシ 三原 毅 ＜R5年4月＞ 工学博士 材料エネルギー概論Ⅰ 実用金属材料学 材料系エンジニアのためのエネ ルギー概論 カーボンニュートラル社会のた めの材料学 エネルギーシステムの持続的活 用を実現する保全学 新材料・エネルギー技術で新た な社会を作り上げるアントレプ レナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 溶接・接合工学 塑性加工学 腐食防食学 新材料・エネルギー技術を活か した事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ
		モリト シゲカズ 森戸 茂一 ＜R5年4月＞ 博士（工学） 材料エネルギー概論Ⅰ 鉄鋼材料学 機能材料学 新材料・エネルギー技術で新た な社会を作り上げるアントレプ レナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 材料科学から社会を見る 材料工学のフロンティア NEXTAセミナー Introduction to high- temperature materials 新材料・エネルギー技術を活か した事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	ミハラ ツヨシ 三原 毅 ＜R5年4月＞ 工学博士 材料エネルギー概論Ⅰ 実用金属材料学 材料系エンジニアのためのエネ ルギー概論 カーボンニュートラル社会のた めの材料学 エネルギーシステムの持続的活 用を実現する保全学 新材料・エネルギー技術で新た な社会を作り上げるアント レプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 溶接・接合工学 塑性加工学 腐食防食学 新材料・エネルギー技術を活 かした事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ
		モリト シゲカズ 森戸 茂一 ＜R5年4月＞ 博士（工学） 材料エネルギー概論Ⅰ 鉄鋼材料学 機能材料学 新材料・エネルギー技術で新た な社会を作り上げるアント レプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 材料科学から社会を見る 材料工学のフロンティア NEXTAセミナー Introduction to high- temperature materials 新材料・エネルギー技術を活 かした事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	ミハラ ツヨシ 三原 毅 ＜R5年4月＞ 工学博士 材料エネルギー概論Ⅰ 実用金属材料学 材料系エンジニアのためのエネ ルギー概論 カーボンニュートラル社会のた めの材料学 エネルギーシステムの持続的活 用を実現する保全学 新材料・エネルギー技術で新た な社会を作り上げるアントレプ レナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 溶接・接合工学 塑性加工学 新材料・エネルギー技術を活か した事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ
		モリト シゲカズ 森戸 茂一 ＜R5年4月＞ 博士（工学） 材料エネルギー概論Ⅰ 鉄鋼材料学 機能材料学 新材料・エネルギー技術で新た な社会を作り上げるアントレプ レナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 材料科学から社会を見る 材料工学のフロンティア NEXTAセミナー Introduction to high- temperature materials 新材料・エネルギー技術を活か した事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	ミヤモト ミツタカ 宮本 光貴 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		材料エネルギー概論Ⅰ 材料を学ぶための基礎物理 材料強度学 新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ
専	教授	ササイ リョウ 笹井 亮 ＜R5年4月＞ 博士（理学）
		材料エネルギー概論Ⅰ 材料エネルギー概論Ⅱ 資源循環化学 新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 環境浄化材料概論 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ
専	教授	タナカ ヒデカズ 田中 秀和 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		材料エネルギー概論Ⅰ 材料物理化学基礎 化学工学 新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 粉体材料化学 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	ミヤモト ミツタカ 宮本 光貴 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		材料エネルギー概論Ⅰ 材料を学ぶための基礎物理 材料強度学 新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ
専	教授	ササイ リョウ 笹井 亮 ＜R5年4月＞ 博士（理学）
		材料エネルギー概論Ⅰ 材料エネルギー概論Ⅱ 資源循環化学 新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 環境浄化材料概論 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ
専	教授	タナカ ヒデカズ 田中 秀和 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		材料エネルギー概論Ⅰ 材料物理化学基礎 化学工学 新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 粉体材料化学 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	ミヤモト ミツタカ 宮本 光貴 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		材料エネルギー概論Ⅰ 材料を学ぶための基礎物理 材料強度学 新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ
専	教授	ササイ リョウ 笹井 亮 ＜R5年4月＞ 博士（理学）
		材料エネルギー概論Ⅰ 材料エネルギー概論Ⅱ 資源循環化学 新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 環境浄化材料概論 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ
専	教授	タナカ ヒデカズ 田中 秀和 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		材料エネルギー概論Ⅰ 材料物理化学基礎 化学工学 新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 粉体材料化学 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	オハラ コウジ 尾原 幸治 ＜R5年4月＞ 博士（理学）
		材料エネルギー概論Ⅰ 材料評価学 新材料・エネルギー技術で新たな社会を 作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構 想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ
専	教授	シバハラ フミトシ 芝原 文利 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		材料エネルギー概論Ⅰ 有機材料化学 新材料・エネルギー技術で新たな社会を 作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 先端有機材料化学 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構 想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ
専	教授	モリモト ノブユキ 森本 展行 ＜R5年4月＞ 博士（学術）
		材料エネルギー概論Ⅰ 高分子材料化学 新材料・エネルギー技術で新たな社会を 作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 生体材料学 Introduction for polymer colloids and interfaces 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構 想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	オハラ コウジ 尾原 幸治 ＜R5年4月＞ 博士（理学）
		材料エネルギー概論Ⅰ 材料評価学 新材料・エネルギー技術で新たな社会を 作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構 想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ
専	教授	
専	教授	モリモト ノブユキ 森本 展行 ＜R5年4月＞ 博士（学術）
		材料エネルギー概論Ⅰ 高分子材料化学 新材料・エネルギー技術で新たな社会を 作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 生体材料学 Introduction for polymer colloids and interfaces 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構 想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	オハラ コウジ 尾原 幸治 ＜R5年4月＞ 博士（理学）
		材料エネルギー概論Ⅰ 材料評価学 新材料・エネルギー技術で新たな社会を 作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構 想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ
専	教授	
専	教授	モリモト ノブユキ 森本 展行 ＜R5年4月＞ 博士（学術）
		材料エネルギー概論Ⅰ 高分子材料化学 新材料・エネルギー技術で新たな社会を 作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 生体材料学 Introduction for polymer colloids and interfaces 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構 想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	フジワラ トオル 藤原 融 ＜R5年4月＞ 工学博士
		材料エネルギー概論Ⅰ データ構造とアルゴリズム 新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 情報論 情報セキュリティ 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ
専	教授	ハセガワ トオル 長谷川 亨 ＜R6年4月＞ 博士（情報学）
		材料エネルギー概論Ⅰ データ構造とアルゴリズム 新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 機械学習 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ
専	教授	シミズ（コウジナ）キヨコ 清水（神品） 希容子 ＜R5年4月＞ 博士（学術）
		材料エネルギー概論Ⅰ 地域創生論 新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 材料系エンジニアのための経済事情論 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	フジワラ トオル 藤原 融 ＜R5年4月＞ 工学博士
		材料エネルギー概論Ⅰ データ構造とアルゴリズム 新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 情報論 情報セキュリティ 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ
専	教授	
専	教授	シミズ（コウジナ）キヨコ 清水（神品） 希容子 ＜R5年4月＞ 博士（学術）
		材料エネルギー概論Ⅰ 地域創生論 新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 材料系エンジニアのための経済事情論 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	フジワラ トオル 藤原 融 ＜R5年4月＞ 工学博士
		材料エネルギー概論Ⅰ データ構造とアルゴリズム 新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 情報論 情報セキュリティ 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ
専	教授	ハセガワ トオル 長谷川 亨 ＜R6年4月＞ 博士（情報学）
		材料エネルギー概論Ⅰ データ構造とアルゴリズム 新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 機械学習 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ
専	教授	シミズ（コウジナ）キヨコ 清水（神品） 希容子 ＜R5年4月＞ 博士（学術）
		材料エネルギー概論Ⅰ 地域創生論 新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 材料系エンジニアのための経済事情論 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	ファム ホン アン Pham Hoang Anh ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		材料エネルギー概論Ⅰ 新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ Materials Science 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ
専	准教授	サイ マサヒロ 崔 允寛 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		材料エネルギー概論Ⅰ 材料を学ぶための基礎化学 材料物理化学 新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ
専	准教授	サワノ タカヒロ 澤野 卓大 ＜R5年4月＞ 博士（理学）
		材料エネルギー概論Ⅰ 材料を学ぶための基礎化学 材料物理化学 新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	ファム ホン アン Pham Hoang Anh ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		材料エネルギー概論Ⅰ 新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ Materials Science 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ
専	准教授	サイ マサヒロ 崔 允寛 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		材料エネルギー概論Ⅰ 材料を学ぶための基礎化学 材料物理化学 新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ
専	准教授	サワノ タカヒロ 澤野 卓大 ＜R5年4月＞ 博士（理学）
		材料エネルギー概論Ⅰ 材料を学ぶための基礎化学 材料物理化学 新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	ファム ホン アン Pham Hoang Anh ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		材料エネルギー概論Ⅰ 新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ Materials Science 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ
専	准教授	サイ マサヒロ 崔 允寛 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		材料エネルギー概論Ⅰ 材料を学ぶための基礎化学 材料物理化学 新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ
専	准教授	サワノ タカヒロ 澤野 卓大 ＜R5年4月＞ 博士（理学）
		材料エネルギー概論Ⅰ 材料を学ぶための基礎化学 材料物理化学 新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	ツジ トシヒロ 辻 俊宏 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		材料エネルギー概論Ⅰ 材料力学 新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 経年損傷と材料の科学 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ
専	准教授	クサカ タクヤ 日下 卓也 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		材料エネルギー概論Ⅰ プログラミング 新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ IoT・コンピュータ入門 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ
専	准教授	エノキ マサノリ 榎木 勝徳 ＜R5年4月＞ 博士（理学）
		材料エネルギー概論Ⅰ 材料組織学 マテリアルズ・インフォマティクス基礎 マテリアルズ・インフォマティクス応用 相平衡の熱力学と状態図入門 新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	ツジ トシヒロ 辻 俊宏 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		材料エネルギー概論Ⅰ 材料力学 新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 経年損傷と材料の科学 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ
専	准教授	クサカ タクヤ 日下 卓也 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		材料エネルギー概論Ⅰ プログラミング 新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ IoT・コンピュータ入門 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ
専	准教授	エノキ マサノリ 榎木 勝徳 ＜R5年4月＞ 博士（理学）
		材料エネルギー概論Ⅰ 材料組織学 マテリアルズ・インフォマティクス基礎 マテリアルズ・インフォマティクス応用 相平衡の熱力学と状態図入門 新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	ツジ トシヒロ 辻 俊宏 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		材料エネルギー概論Ⅰ 材料力学 新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 経年損傷と材料の科学 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ
専	准教授	クサカ タクヤ 日下 卓也 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		材料エネルギー概論Ⅰ プログラミング 新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ IoT・コンピュータ入門 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ
専	准教授	エノキ マサノリ 榎木 勝徳 ＜R5年4月＞ 博士（理学）
		材料エネルギー概論Ⅰ 材料組織学 マテリアルズ・インフォマティクス基礎 マテリアルズ・インフォマティクス応用 相平衡の熱力学と状態図入門 新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	トイタ サヤカ 戸井田 さやか ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		材料エネルギー概論Ⅰ 新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 生命工学概論 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ
専	助教	ヒロイ サトシ 廣井 慧 ＜R5年4月＞ 博士（理学）
		材料エネルギー概論Ⅰ 新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ
専	助教	フジサキ タカヤ 藤崎 貴也 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		材料エネルギー概論Ⅰ 新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	トイタ サヤカ 戸井田 さやか ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		材料エネルギー概論Ⅰ 新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 生命工学概論 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ
専	助教	ヒロイ サトシ 廣井 慧 ＜R5年4月＞ 博士（理学）
		材料エネルギー概論Ⅰ 新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ
専	助教	フジサキ タカヤ 藤崎 貴也 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		材料エネルギー概論Ⅰ 新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	トイタ サヤカ 戸井田 さやか ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		材料エネルギー概論Ⅰ 新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 生命工学概論 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ
専	助教	ヒロイ サトシ 廣井 慧 ＜R5年4月＞ 博士（理学）
		材料エネルギー概論Ⅰ 新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ
専	助教	フジサキ タカヤ 藤崎 貴也 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		材料エネルギー概論Ⅰ 新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	サカイ ユウタ 阪井 祐太 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		材料エネルギー概論Ⅰ プログラミング 新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 情報論 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ
専	助教	トリウミ タクト 鳥海 拓都 ＜R5年4月＞ 修士（工学）
		材料エネルギー概論Ⅰ 新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ
兼任		北川 裕之 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		機能材料学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	サカイ ユウタ 阪井 祐太 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		材料エネルギー概論Ⅰ プログラミング 新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 情報論 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ
専	助教	トリウミ タクト 鳥海 拓都 ＜R5年10月＞ 博士（工学）
		材料エネルギー概論Ⅰ 新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ
専	助教	ナカシマ ケン 中島 健 ＜R5年6月＞ 博士（理学）
		材料エネルギー概論Ⅰ 行列と行列式 確率・統計 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専	助教	ガオ ユエユアン GAO YUEYUAN ＜R5年9月＞ 博士（応用数学）
		材料エネルギー概論Ⅰ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
兼任		北川 裕之 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		機能材料学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	サカイ ユウタ 阪井 祐太 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		材料エネルギー概論Ⅰ プログラミング 新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 情報論 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ
専	助教	トリウミ タクト 鳥海 拓都 ＜R5年10月＞ 博士（工学）
		材料エネルギー概論Ⅰ 新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ
専	助教	ナカシマ ケン 中島 健 ＜R5年6月＞ 博士（理学）
		材料エネルギー概論Ⅰ 行列と行列式 確率・統計 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専	助教	ガオ ユエユアン GAO YUEYUAN ＜R5年9月＞ 博士（応用数学）
		材料エネルギー概論Ⅰ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
兼任		北川 裕之 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		機能材料学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任		材料 元基 太田 元基 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		機能材料学 NEXTAセミナー
兼任		荒河 一渡 荒河 一渡 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		NEXTAセミナー
兼任		新城 淳史 新城 淳史 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		NEXTAセミナー
兼任		平山 尚美 平山 尚美 ＜R5年4月＞ 博士（理学）
		NEXTAセミナー
兼任		若林 英輝 若林 英輝 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		NEXTAセミナー
兼任		吉田 佳典 吉田 佳典 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		NEXTAセミナー
兼任		杵掛 あすか 杵掛 あすか ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		NEXTAセミナー
兼任		三好 清貴 三好 清貴 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		材料科学から社会を見る
兼任		半田 真 半田 真 ＜R5年4月＞ 理学博士
		無機化学
兼任		片岡 祐介 片岡 祐介 ＜R5年4月＞ 博士（理学）
		無機化学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任		材料 元基 太田 元基 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		機能材料学 NEXTAセミナー
兼任		荒河 一渡 荒河 一渡 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		材料エネルギー概論Ⅰ NEXTAセミナー
兼任		新城 淳史 新城 淳史 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		NEXTAセミナー
兼任		平山 尚美 平山 尚美 ＜R5年4月＞ 博士（理学）
		材料エネルギー概論Ⅰ NEXTAセミナー
兼任		若林 英輝 若林 英輝 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		材料エネルギー概論Ⅰ NEXTAセミナー
兼任		吉田 佳典 吉田 佳典 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		NEXTAセミナー
兼任		杵掛 あすか 杵掛 あすか ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		NEXTAセミナー
兼任		三好 清貴 三好 清貴 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		材料科学から社会を見る
兼任		半田 真 半田 真 ＜R5年4月＞ 理学博士
		無機化学
兼任		片岡 祐介 片岡 祐介 ＜R5年4月＞ 博士（理学）
		無機化学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任		材料 元基 太田 元基 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		機能材料学 NEXTAセミナー
兼任		荒河 一渡 荒河 一渡 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		材料エネルギー概論Ⅰ NEXTAセミナー
兼任		新城 淳史 新城 淳史 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		NEXTAセミナー
兼任		平山 尚美 平山 尚美 ＜R5年4月＞ 博士（理学）
		材料エネルギー概論Ⅰ NEXTAセミナー
兼任		若林 英輝 若林 英輝 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		材料エネルギー概論Ⅰ NEXTAセミナー
兼任		吉田 佳典 吉田 佳典 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		NEXTAセミナー
兼任		杵掛 あすか 杵掛 あすか ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		NEXTAセミナー
兼任		三好 清貴 三好 清貴 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		材料科学から社会を見る
兼任		半田 真 半田 真 ＜R5年4月＞ 理学博士
		無機化学
兼任		片岡 祐介 片岡 祐介 ＜R5年4月＞ 博士（理学）
		無機化学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任		ヤマダ イサオ 山口 勲 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		高分子化学
兼任		カハラ ショウゴ 菅原 庄吾 ＜R5年4月＞ 博士（理学）
		分析化学
兼任		キタムラ トシヒロ 北村 寿宏 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		MOT・技術者倫理概論
兼任		ツジモト カズノリ 辻本 和敬 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		MOT・技術者倫理概論
兼任		カトウ サダノブ 加藤 定信 ＜R5年4月＞ 博士（農学）
		MOT・技術者倫理概論
兼任	准教授	ヤシロ ケイジ 八代 圭司 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		材料エネルギー概論Ⅰ 無機固体材料化学 セラミックス化学 新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 材料電気化学 未来を支えるエネルギー技術 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ
兼任		オオタニ ヒロシ 大谷 博司 ＜R5年4月＞ 工学博士
		材料組織学 相平衡の熱力学と状態図入門

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任		ヤマダ イサオ 山口 勲 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		高分子化学
兼任		カハラ ショウゴ 菅原 庄吾 ＜R5年4月＞ 博士（理学）
		分析化学
兼任		キタムラ トシヒロ 北村 寿宏 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		MOT・技術者倫理概論
兼任		ツジモト カズノリ 辻本 和敬 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		MOT・技術者倫理概論
兼任		カトウ サダノブ 加藤 定信 ＜R5年4月＞ 博士（農学）
		MOT・技術者倫理概論
兼任	准教授	ヤシロ ケイジ 八代 圭司 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		材料エネルギー概論Ⅰ 無機固体材料化学 セラミックス化学 新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 材料電気化学 未来を支えるエネルギー技術 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ
兼任		オオタニ ヒロシ 大谷 博司 ＜R5年4月＞ 工学博士
		材料組織学 相平衡の熱力学と状態図入門

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任		ヤマダ イサオ 山口 勲 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		高分子化学
兼任		カハラ ショウゴ 菅原 庄吾 ＜R5年4月＞ 博士（理学）
		分析化学
兼任		キタムラ トシヒロ 北村 寿宏 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		MOT・技術者倫理概論
兼任		ツジモト カズノリ 辻本 和敬 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		MOT・技術者倫理概論
兼任		カトウ サダノブ 加藤 定信 ＜R5年4月＞ 博士（農学）
		MOT・技術者倫理概論
兼任	教授	ヤシロ ケイジ 八代 圭司 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		材料エネルギー概論Ⅰ 無機固体材料化学 セラミックス化学 新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 外書講読 基礎学生実験 学生実験Ⅰ 学生実験Ⅱ 材料電気化学 未来を支えるエネルギー技術 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ 海外研修 企業実践プロジェクト演習 実践インターンシップ
兼任		オオタニ ヒロシ 大谷 博司 ＜R5年4月＞ 工学博士
		材料組織学 相平衡の熱力学と状態図入門

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任		アライ タク 新井 拓 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		材料系エンジニアのためのエネルギー概論 エネルギーシステムの持続的活用を実現する保全学
兼任		フルカワ タカシ 古川 敬 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		カーボンニュートラル社会のための材料学 エネルギーシステムの持続的活用を実現する保全学
兼任		シミズ カズミチ 清水 一道 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		溶融加工学
兼任		ミナモト サトシ 源 聡 ＜R5年4月＞ 博士（理学）
		マテリアルズ・インフォマティクス基礎 マテリアルズ・インフォマティクス応用
兼任		ミヤワキ マモル 宮脇 守 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り
兼任		TENHU Heikki Juhani ＜R5年4月＞ ph.D in polymer chemistry
		Introduction for polymer colloids and interfaces
兼任		サトウ ユタカ 佐藤 裕 ＜R7年4月＞ 博士（工学）
		溶接・接合工学
兼任		オイカワ カツナリ 及川 勝成 ＜R7年4月＞ 博士（工学）
		塑性加工学

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任		アライ タク 新井 拓 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		材料系エンジニアのためのエネルギー概論 エネルギーシステムの持続的活用を実現する保全学
兼任		フルカワ タカシ 古川 敬 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		カーボンニュートラル社会のための材料学 エネルギーシステムの持続的活用を実現する保全学
兼任		シミズ カズミチ 清水 一道 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		溶融加工学
兼任		ミナモト サトシ 源 聡 ＜R5年4月＞ 博士（理学）
		マテリアルズ・インフォマティクス基礎 マテリアルズ・インフォマティクス応用
兼任		ミヤワキ マモル 宮脇 守 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り
兼任		TENHU Heikki Juhani ＜R5年4月＞ ph.D in polymer chemistry
		Introduction for polymer colloids and interfaces
兼任		サトウ ユタカ 佐藤 裕 ＜R7年4月＞ 博士（工学）
		溶接・接合工学
兼任		オイカワ カツナリ 及川 勝成 ＜R7年4月＞ 博士（工学）
		塑性加工学

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任		アライ タク 新井 拓 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		材料系エンジニアのためのエネルギー概論 エネルギーシステムの持続的活用を実現する保全学
兼任		フルカワ タカシ 古川 敬 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		カーボンニュートラル社会のための材料学 エネルギーシステムの持続的活用を実現する保全学
兼任		シミズ カズミチ 清水 一道 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		溶融加工学
兼任		ミナモト サトシ 源 聡 ＜R5年4月＞ 博士（理学）
		マテリアルズ・インフォマティクス基礎 マテリアルズ・インフォマティクス応用
兼任		ミヤワキ マモル 宮脇 守 ＜R5年4月＞ 博士（工学）
		新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道 新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り
兼任		TENHU Heikki Juhani ＜R5年4月＞ ph.D in polymer chemistry
		Introduction for polymer colloids and interfaces
兼任		サトウ ユタカ 佐藤 裕 ＜R7年4月＞ 博士（工学）
		溶接・接合工学
兼任		オイカワ カツナリ 及川 勝成 ＜R7年4月＞ 博士（工学）
		塑性加工学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任		ムトウ イズミ 武藤 泉 ＜R7年4月＞ 博士（工学）
		腐食防食学
兼任		Roger Charles Reed ＜R5年4月＞ Ph. D
		Introduction to high- temperature materials
兼任		スギエ ジツロウ 杉江 実郎 ＜R5年4月＞ 理学博士
		行列と行列式 確率・統計

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任		ムトウ イズミ 武藤 泉 ＜R7年4月＞ 博士（工学）
		腐食防食学
兼任		Roger Charles Reed ＜R5年4月＞ Ph. D
		Introduction to high- temperature materials
兼任		スギエ ジツロウ 杉江 実郎 ＜R5年4月＞ 理学博士
		行列と行列式 確率・統計

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任		ムトウ イズミ 武藤 泉 ＜R7年4月＞ 博士（工学）
		腐食防食学
兼任		Roger Charles Reed ＜R5年4月＞ Ph. D
		Introduction to high- temperature materials
兼任		スギエ ジツロウ 杉江 実郎 ＜R5年4月＞ 理学博士
		行列と行列式 確率・統計

- （注）・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼任教員を含む。）を黒字で記入してください。
- その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム（新カリ）の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目名を記入してください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和5年度】

- ・芝原文利教授就任辞退。令和5年度中に後任教員採用予定（人事選考中）。
- ・研究上の理由により、鳥海拓都助教の就任が令和5年4月から令和5年10月に遅延。
- ・令和5年6月 中島健助教就任。
- ・令和5年9月 GAO YUEYUAN助教就任。
- ・令和5年10月 千星聡教授就任。

【令和6年度】

- ・令和6年4月官原優教授就任。

- (注)
- ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**原則としてAC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ませ**
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上の 必要教授数
14	7
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。

・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
12	6	1	4	23	0	12	6	1	6	25	0
(9)	(6)	(1)	(3)	(19)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
13	6	1	6	26	0	13	6	1	6	26	0
[1]	[]	[]	[2]	[3]	[]	[1]	[]	[]	[2]	[3]	[]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
常勤：65 非常勤：70	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{26}{23} = \boxed{113.04} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{25} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	教授	芝原 文利	R4.12	必修	材料科学概論Ⅰ	①	R4.12…本人の希望により就任辞退（５）						
				必修	有機材料化学	①							
				必修	新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道	①							
				必修	外書講読	①							
				必修	基礎学生実験	①							
				必修	学生実験Ⅰ	①							
				必修	学生実験Ⅱ	①							
				選択	先端有機材料化学	①							
				選択	新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り	①							
				必修	卒業研究Ⅰ	①							
				必修	卒業研究Ⅱ	①							
				必修	卒業研究Ⅲ	①							
				選択	海外研修	①							
				選択	企業実践プロジェクト演習	①							
				選択	実践インターンシップ	①							
合計（Ｄ）						後任補充状況の集計（Ｅ）							
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
1	人	必修	10	科目	必修	10	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	5	科目	選択	5	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	15	科目	計	15	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
-	-	-	-	-	-	-	-						
合 計（Ｆ）						後任補充状況の集計（Ｇ）							
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)							
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
1	人	必修	10 科目	必修	10 科目	必修	0 科目	必修	0 科目		
		選択	5 科目	選択	5 科目	選択	0 科目	選択	0 科目		
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	15 科目	計	15 科目	計	0 科目	計	0 科目		

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{1}{23} = 4.34 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

- 人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別		担当予定科目	後任補充状況			辞任等の理由				
-	-	-	-		-	-			-				
合計						後任補充状況の集計							
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」

辞任した専任教員が担当する予定であった授業科目のうち、他の教員と共同で開講する授業については、他の専任教員により内容を変更することなく実施する体制を整えたため、該当授業の開講に支障はない。また、単独で担当する予定であった授業科目も、全て他の専任教員により内容を変更することなく実施するため、教育課程の編成に変更はない。

「学生への周知方法」

担当教員の変更については、掲示や各指導教員からの連絡により学生へ周知している。また、シラバスにより、授業の目的、達成目標、授業の内容や進め方、成績評価の方法およびその基準など詳細な情報を提供しており、専任教員の一部が交代しても学生の履修に支障がないように情報を提供している。

(注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和4年)	養成する人材像、教育研究上の目的を踏まえると「エネルギー」に関する科目が不足しているため、「エネルギー」に関する科目を充実すること。	【認可】 遵守事項 新たに2科目追加するとともに、届出た3科目の授業内容を見直し、エネルギーに関する内容を充実させた。(5)(6)	履行済

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。
 - 【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)(6)」と記載してください。
 - 【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。
その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<材料エネルギー学部 材料エネルギー学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 修了要件単位数 124単位 必修科目100単位、選択科目24単位 ② 施設・設備 無し	② 令和7年度に学部棟完成予定。 ③ その他 「2 授業科目の概要」における教養育成科目のうち (※)を付した計22科目については、本学科開設までに本来廃止すべきだった科目であり、書類不備によるもの。 ④ 3ポリシーの見直し 第4期中期計画等を踏まえた全学的なDP、CP、APの策定及び全学共通教育科目（いわゆる教養教育）の見直しを踏まえ、令和6年度入学者から材料エネルギー学部の3ポリシーを変更（新旧対照表は別紙のとおり）。以下は主な変更点となる。 DP ・全学DPを踏まえた軽微な文言の整理 ・学修目標の全学DPとの対応の整理 ・DPと特に関わりが深いSDGs17の目標の整理 CP ・全学CPを踏まえた軽微な文言の整理 ・全学的な教育改革である「クロス教育」の導入を踏まえた文言の整理 ・全学共通教育科目の見直しを通じた卒業要件の修正 AP（令和7年度入学者から適用） ・全学APを踏まえた軽微な文言の整理 ・学習指導要領対応による「情報」科目の追加 ※本変更は、全学DP・CP・APの策定に伴う文言の整理及び全学共通教育科目の見直しによるものであり、この変更に伴い学生に不利益が生じることがないよう、学生への周知及び履修指導を徹底する。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 材料エネルギー学部戦略企画会議（規定は別紙のとおり） b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 月2回開催（教員の9割参加） c 委員会の審議事項等 別紙規定のとおり
--

② 実施状況

a 実施内容

- ・チューター制度に関する説明会（令和5年4月3日開催、教員20名参加）
- ・高校訪問のための学部説明会（令和5年4月26日開催、教員20名参加）
- ・教員相互の研究紹介（令和5年5月24日、令和5年9月27日開催、教員20名参加）
※教員間での共同研究を促進するため、各教員の研究内容について相互に理解を深めるもの。
- ・アントレプレナーシップ授業から学ぶ教育内容・方法等の改善
（令和5年5月29日、7月3日、10月23日、11月27日、令和6年1月15日開催、各回教員の9割参加）
※外部講師が担当する1年生必修科目「新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーシップへの道」を授業視察し、教育内容・方法等の改善について理解を深めるもの。
- ・マテリアルズインフォマティクス研修会（令和5年11月22日、令和6年1月31日開催、各回教員の9割参加）

b 実施方法

学部独自で実施。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

教員の9割参加

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

今後の授業評価結果等をもとに必要に応じて改善等を行う予定。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

大学教育センターが主体となり全学的に前期及び後期終了後にWebによるアンケートを実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

学内向けサイトにて公表している

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
材料エネルギー学部経営会議において今後行う予定。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期
未定

b 公表方法
大学ホームページ上に公開予定。

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）
令和11年度までに認証評価を受ける予定。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ ☐ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [☒ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ ☐ 公表後2～3ヶ月以内 ・ ☐ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [☒ ウェブサイトへの掲載 ・ ☐ その他（ ）]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

■DP

現行(令和5年度入学生対象)	改定案(令和6年度以降入学生対象)									
■人材育成目標(社会における顕在・潜在ニーズ、卒業生が身につけるべき資質・能力) 材料エネルギー学部では、材料工学に関する専門性を身に付け、地域のみならず我が国の発展に貢献できるよう、材料が持つ複雑性や多面性・アプローチの多様性を理解して得られる課題抽出能力・表現力・社会実装力の育成を目指す学士・修士一貫型教育における学士教育を通じて、材料工学の専門性を活かした新しい価値を創出できる創造性豊かな高度専門人材を養成することを目的としている。	■人材育成目標(社会における顕在・潜在ニーズ、卒業生が身につけるべき資質・能力) 材料エネルギー学部では、材料工学に関する専門性を身に付け、地域のみならず我が国の発展に貢献できるよう、材料が持つ複雑性や多面性・アプローチの多様性を理解して得られる課題抽出能力・表現力・社会実装力の育成を目指す学士・修士一貫型教育における学士課程での教育を通じて、材料工学の専門性を活かした新しい価値を創出できる創造性豊かな高度専門人材を養成することを目的としている。としての資質・能力を身に付けた者に学士(工学)を授与する。									
■学修目標(目標としての学修成果) 1. 持続可能な社会の形成に関する現実課題を理解し、材料工学分野の知識・技能を身につけ新材料の研究開発を先導することができる。 2. 情報収集・データ活用技術を習得し、専門領域に応用することができる。	■学修目標(目標としての学修成果) <table><tr><th>No.</th><th>学修成果</th><th>全学 DP への対応</th></tr><tr><td>1.</td><td>持続可能な社会の形成に関する現実課題を理解し、材料工学分野の知識・技能を身につけ新材料の研究開発を先導することができる。</td><td>⑤ ⑥</td></tr><tr><td>2.</td><td>情報収集・データ活用技術を習得し、専門領域に応用することができる。</td><td>②</td></tr></table>	No.	学修成果	全学 DP への対応	1.	持続可能な社会の形成に関する現実課題を理解し、材料工学分野の知識・技能を身につけ新材料の研究開発を先導することができる。	⑤ ⑥	2.	情報収集・データ活用技術を習得し、専門領域に応用することができる。	②
No.	学修成果	全学 DP への対応								
1.	持続可能な社会の形成に関する現実課題を理解し、材料工学分野の知識・技能を身につけ新材料の研究開発を先導することができる。	⑤ ⑥								
2.	情報収集・データ活用技術を習得し、専門領域に応用することができる。	②								

3. 国際的な動向を認知し、広い視野、教養と協調性により、多様な人とコミュニケーションを取ることができる。 4. 目標となる未来社会をデザインし、創造的に解決策を見出すことができる。 5. 社会動向を見極め、修得した知識・技術を地域社会で実践できる。	3.	国際的な動向を認知し、広い視野、教養と協調性により、多様な人とコミュニケーションを取ることができる。	① ② ③ ④
	4.	目標となる未来社会をデザインし、創造的に解決策を見出すことができる。	⑤
	5.	社会動向を見極め、修得した知識・技術を地域社会で実践できる。	③ ⑤
■ DP と特に関わりが深い SDGs17 の目標(学士課程を通じた資質・能力の修得が、社会における SDGsのゴール達成とどのように関わるか)			
SDGs「7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに」 材料エネルギー学部では、持続可能な社会の実現に向けて全世界で対応が急がれるエネルギー問題を、高性能新材料や低環境負荷な新素材の研究開発を通じて解決することを目指している。			

■CP

現行(令和5年度入学生対象)	改定案(令和6年度以降入学生対象)
(1) 教育課程編成の考え方（カリキュラムポリシー） 全学共通教育は、基礎科目として「外国語」、「健康・スポーツ、文化・芸術」、「情報科学」「数理・データサイエンス」の科目群、教養育成科目として「人文・社会分野」、「自然分野」、「学際分野」の科目群を編成している。学生の知的好奇心・探究心を活性化させ、幅広い知識や情報収集力、コミュニケーション能力など社会に貢献し、活躍するためのリテラシーを身につける。 専門教育科目では、以下のように科目を配置する。 1. エネルギー問題に関する基本的な知識の習得と同問題への関心を高め、材料を学ぶ上で必要な基礎科学の知識を修得する科目を配置し、実用材料の現状と課題を知り、材料が社会において果たす役割を理解する。年次進行に合わせ、新材料の研究開発に必要な	(4) 教育課程編成の考え方（カリキュラムポリシー） 1. 教育課程の編成方針 全学共通教育は、基礎科目として「外国語」、「健康・スポーツ、文化・芸術」、「情報科学」「数理・データサイエンス」の科目群、教養育成科目として「人文・社会分野」、「自然分野」、「学際分野」の科目群を編成している。 全学基礎教育として、「島大 STEAM 科目群」「ユニバーサル科目群」「地域創生科目群」「教養育成科目群」を編成し、全学 CP が定める目標への到達を促す。また、自己のもう一つの成長の可能性を発現させるため、材料エネルギー学部の特設分野の枠を超えて学ぶ「島大クロス教育」※を履修可能とする。これらの教育を通じ、学生の知的好奇心・探究心を活性化させ、幅広い知識や情報収集力、コミュニケーション能力など社会に貢献し、活躍するためのリテラシーを身につける。 ※自己が定める成長の方向性や興味に応じて学生自身が主体的に授業科目を選択。 専門教育科目では、以下のように科目を配置する。 1. エネルギー問題に関する基本的な知識の習得と同問題への関心を高め、材料を学ぶ上で必要な基礎科学の知識を修得する科目を配置し、実用材料の現状と課題を知り、材料が社会において果たす役割や SDGs に掲げられている目標を達成するための方法を理解する。年次進行に合わせ、新材料の研究開発に必要な先端

る先端金属材料、バイオマテリアル、ナノ・機能性材料の専門知識を身に付ける科目を配置する。 2. 材料工学を深化させるツールを修得するため、マテリアルズ・インフォマティクスに資するデータサイエンスの活用方法及びデータ処理技術を修得し、機械学習による計算科学におけるデータ活用について理解するための科目を配置する。 3. グローバルな感性を養い専門性を高めるための海外大学と連携の上、材料工学に関する専門英語の読解力や記述力、コミュニケーション能力を養う科目を配置する。 4. 課題の本質がどこにあるかを解析し、その課題を解決するために必要となる知識を見出し、学ぶ動機付けを与える科目を配置する。また、地域の特徴でもある材料分野における産業振興に向け、研究成果を社会実装し、社会課題の解決を目指すデザイン力を身につける科目を配置する。 5. 企業ニーズを踏まえた主体的な学びを促すため、新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り、企業の実課題を題材にしたチームプロジェクト演習、インターンシップを配置する。	金属材料、バイオマテリアル、ナノ・機能性材料の専門知識を身に付ける科目を配置する。 2. 材料工学を深化させるツールを修得するため、マテリアルズ・インフォマティクスに資するデータサイエンスの活用方法及びデータ処理技術を修得し、機械学習による計算科学におけるデータ活用について理解するための科目を配置する。 3. グローバルな感性を養い専門性を高めるための海外大学と連携の上、材料工学に関する専門英語の読解力や記述力、コミュニケーション能力を養う科目を配置する。 4. 課題の本質がどこにあるかを解析し、その課題を解決するために必要となる知識を見出し、学ぶ動機付けを与える科目を配置する。また、地域の特徴でもある材料分野における産業振興に向け、研究成果を社会実装し、社会課題の解決を目指すデザイン力を身につける科目を配置する。 5. 企業ニーズを踏まえた主体的な学びを促すため、新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り、企業の実課題を題材にしたチームプロジェクト演習、インターンシップを配置する。
(2) 教育課程における教育・学修方法に関する方針 専門教育科目では、講義科目の他、演習、実験、実習を体系的に組み合わせて実施する。講義系の授業群では、基礎的な概念から、実際の研究開発や循環について理解させる他、材料と実社会のつながりやエネルギー問題とのつながりも理解させる。	(2)2. 教育課程における教育・学修方法に関する方針 専門教育科目では、講義科目の他、演習、実験、実習を体系的に組み合わせて実施する。講義系の授業群では、基礎的な概念から、実際の研究開発や循環について理解させる他、材料と実社会のつながりやエネルギー問題とのつながりも理解させる。

演習では、学んだ知識をもとに考えさせ、現場での体験や課題に対して自ら調査し、討議などを行うことにより、材料に対する関心や多面的な理解を深める。 実験・実習では、実験装置・器具の利用法を理解した上で、実際に体験し、材料の研究開発に必要な応用的な技術習得させる。また、フィールドワークや企業との共同プロジェクトに取り組み、実践力を養う。これらの科目にはチームで行う内容を含み、集团的・組織的に問題解決にあたる。 卒業研究では、社会実装を見据え、研究成果を得るための実験や調査を計画し、あるいは企業等とのプロジェクト演習や海外研修などに取り組み、実験やデータ収集・解析に取り組み、検討結果や検証に基づいて、一つの論文や成果報告書としてまとめ、第3者が理解できるように正確にプレゼンテーションできる能力を身につけさせる。 (3) 学修成果の評価の方針 各授業科目の学修成果は、授業の到達目標をもとに、シラバスに明示された成績評価の方法およびその基準に従って、試験、レポート、活動への参画状況等、多面的評価により評価する。 卒業研究においては学部教員のみならず、企業を交えたプレゼンテーションの場を設け、評価を行う。	演習では、学んだ知識をもとに考えさせ、現場での体験や課題に対して自ら調査し、討議などを行うことにより、材料に対する関心や多面的な理解を深める。 実験・実習では、実験装置・器具の利用法を理解した上で、実際に体験し、材料の研究開発に必要な応用的な技術習得させる。また、フィールドワークや企業との共同プロジェクトに取り組み、実践力を養う。これらの科目にはチームで行う内容を含み、集团的・組織的に問題解決にあたる。 卒業研究では、社会実装を見据え、研究成果を得るための実験や調査を計画し、あるいは企業等とのプロジェクト演習や海外研修などに取り組み、実験やデータ収集・解析に取り組み、検討結果や検証に基づいて、一つの論文や成果報告書としてまとめ、第三者が理解できるように正確にプレゼンテーションできる能力を身につけさせる。 (a)3. 学修成果の評価の方針 各授業科目の学修成果は、授業の到達目標をもとに、シラバスに明示された成績評価の方法およびその基準に従って、試験、レポート、活動への参画状況等、多面的評価により評価する。 卒業研究においては学部教員のみならず、企業を交えたプレゼンテーションの場を設け、評価を行う。
--	---

■材料エネルギー学部アドミッション・ポリシー（AP）

現行	（改定案）令和7年度入学生向け
◆求める人物像 1. 新しい技術に関心があり、材料科学分野の知識・技術を実社会に役立てる意欲のある人 2. 実験やデータ解析を検証することで課題解決の糸口を考えようとする人 3. グローバルな視野をもって多様な人と協働して学ぶ意欲のある人 4. 社会の動向にアンテナを張り、新しいことに自分からチャレンジする人 5. 地域の関連産業の発展やエネルギー問題の解決に貢献したい人 ◆入学選抜の基本方針 本学部では、アドミッション・ポリシーに基づいて、受験者の多様な能力を多面的に評価するために、一般入試(前期日程・後期日程)のほか、総合型選抜Ⅰ（へるん一般型、へるん特定型(地域志向入試、専門高校入試、グローバル英語入試)）、学校推薦型選抜Ⅱを実施する。 ◆選抜方法 本学部の募集人員は80名で、次の入試を実施する。 （ア）一般選抜(前期日程) 【基礎的知識と論理性を重視】	◆求める人物像 1. 高等学校段階での基礎学力を有し、新しい技術に関心があり、材料科学分野の知識・技術を実社会に役立てる意欲のある人 2. 実験やデータ解析を検証することで課題解決の糸口を考えようとする人 3. グローバルな視野をもって多様な人と協働して学ぶ意欲のある人 4. 社会の動向にアンテナを張り、新しいことに自分からチャレンジする人 5. 地域の関連産業の発展やエネルギー問題の解決に貢献したい人 ◆入学選抜の基本方針 本学部では、アドミッション・ポリシーに基づいて、受験者の多様な能力を多面的に評価するために、一般入試(前期日程・後期日程)のほか、総合型選抜Ⅰ（へるん一般型、へるん特定型(地域志向入試、専門高校入試、グローバル英語入試)）、学校推薦型選抜Ⅱを実施する。 ◆選抜方法 本学部の募集人員は80名で、次の入試を実施する。 （ア）一般選抜(前期日程) 【基礎的知識と論理性を重視】

大学入学共通テスト及び個別学力試験(筆記)によって、理科や数学をはじめとする高等学校で修得すべき基礎学力や論理性を十分に備えているかを評価する。 (イ)一般選抜(後期日程) 【基礎的知識と論理性に加え、学習に対する意欲も重視】 大学入学共通テストによって、物理又は化学、数学の高等学校で修得すべき基礎的知識を十分に備えているかを評価する。 また、面接によって、材料科学を学びたいという意欲、さらに論理的思考力についても評価する。 (ウ)総合型選抜Ⅰ へるん一般型 「調査書」及び「クローズアップシート」、「読解・表現力試験」、「志望理由書」を用いた「面接」により、知的好奇心・探究心を重視し、学力の3要素(知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)を総合的に評価する。 (エ)総合型選抜Ⅰ へるん特定型地域志向入試 「調査書」及び「クローズアップシート」、「読解・表現力試験」、「志望理由書」を用いた「面接」により、知的好奇心・探究心を重視し、学力の3要素を総合的に評価する。特に、「地域志向レポート」に基づいて「地域志向面接」を行い、地域課題への貢献についての興味・関心を評価する。	大学入学共通テスト及び個別学力試験(筆記)によって、理科や数学をはじめとする高等学校で修得すべき基礎学力や論理性を十分に備えているかを評価する。 (イ)一般選抜(後期日程) 【基礎的知識と論理性に加え、学習に対する意欲も重視】 大学入学共通テストによって、物理又は化学、数学及び情報[＊]の高等学校で修得すべき基礎的知識を十分に備えているかを評価する。 また、面接によって、材料科学を学びたいという意欲、さらに論理的思考力についても評価する。 (ウ)総合型選抜Ⅰ へるん一般型 「調査書」及び「クローズアップシート」、「読解・表現力試験」、「志望理由書」を用いた「面接」により、知的好奇心・探究心を重視し、学力の3要素(知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)を総合的に評価する。 (エ)総合型選抜Ⅰ へるん特定型地域志向入試 「調査書」及び「クローズアップシート」、「読解・表現力試験」、「志望理由書」を用いた「面接」により、知的好奇心・探究心を重視し、学力の3要素を総合的に評価する。特に、「地域志向レポート」に基づいて「地域志向面接」を行い、地域課題への貢献についての興味・関心を評価する。
--	--

(オ)総合型選抜Ⅰ へるん特定型専門高校入試 「調査書」及び「クローズアップシート」、「読解・表現力試験」、「志望理由書」を用いた「面接」により、知的好奇心・探究心を重視し、学力の3要素を総合的に評価する。さらに、「口頭試問」により理科に関する基礎知識と論理性及び専門高校における活動実績を評価する。 (カ)総合型選抜Ⅰ へるん特定型グローバル英語入試 「調査書」及び「クローズアップシート」、「読解・表現力試験」、「志望理由書」を用いた「面接」により、知的好奇心・探究心を重視し、学力の3要素を総合的に評価する。なお、別に定める外部英語検定試験の一定の資格・スコアを有することを出願要件とし、「グローバル英語入試志望理由書」に基づいて「英語面接」を行い、英語の活用能力を評価する。 (キ)学校推薦型選抜Ⅱ 大学入学共通テストによって理科及び数学の高等学校段階で習得すべき基礎知識を十分に備えているかを評価する。また、面接によって、将来、女性研究者や技術者等として理工系分野の発展に貢献したいという意欲及び適性について評価する。	(オ)総合型選抜Ⅰ へるん特定型専門高校入試 「調査書」及び「クローズアップシート」、「読解・表現力試験」、「志望理由書」を用いた「面接」により、知的好奇心・探究心を重視し、学力の3要素を総合的に評価する。さらに、「口頭試問」により理科に関する基礎知識と論理性及び専門高校における活動実績を評価する。 (カ)総合型選抜Ⅰ へるん特定型グローバル英語入試 「調査書」及び「クローズアップシート」、「読解・表現力試験」、「志望理由書」を用いた「面接」により、知的好奇心・探究心を重視し、学力の3要素を総合的に評価する。なお、別に定める外部英語検定試験の一定の資格・スコアを有することを出願要件とし、「グローバル英語入試志望理由書」に基づいて「英語面接」を行い、英語の活用能力を評価する。 (キ)学校推薦型選抜Ⅱ 大学入学共通テストによって理科及び、数学及び情報の高等学校段階で習得すべき基礎知識を十分に備えているかを評価する。また、面接によって、将来、女性研究者や技術者等として理工系分野の発展に貢献したいという意欲及び適性について評価する。
--	---

●各選抜方法における求める力（評価する力）										
区分	選抜方法	知識・技能	読解力・思考力・表現力	主体的・活動性	知的・計画的・探究心	実践への興味・関心	専門学科に関する能力	英語能力		
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	◎	◎						
	後期日程	大学入学共通テスト	◎	◎						
総合型選抜Ⅰ	へるん一般型	調査書・自己申告書（自己記入式）	◎	◎	◎	◎				
		読解・表現力試験	◎	◎	◎	◎				
	地域志願入試	調査書・自己申告書（自己記入式）	◎	◎	◎	◎				
		読解・表現力試験	◎	◎	◎	◎				
	専門高校入試	調査書・自己申告書（自己記入式）	◎	◎	◎	◎				
		読解・表現力試験	◎	◎	◎	◎				
	グローバル・英語入試	調査書・自己申告書（自己記入式）	◎	◎	◎	◎			◎	
		読解・表現力試験	◎	◎	◎	◎			◎	
		学校推薦型選抜Ⅱ		調査書及び自己申告書	★	★	★	★		
		★：参考とするもの								

●各選抜方法における求める力（評価する力）										
区分	選抜方法	知識・技能	読解力・思考力・表現力	主体的・活動性	知的・計画的・探究心	実践への興味・関心	専門学科に関する能力	英語能力		
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	◎	◎						
	後期日程	大学入学共通テスト	◎	◎						
総合型選抜Ⅰ	へるん一般型	調査書・自己申告書（自己記入式）	◎	◎	◎	◎				
		読解・表現力試験	◎	◎	◎	◎				
	地域志願入試	調査書・自己申告書（自己記入式）	◎	◎	◎	◎				
		読解・表現力試験	◎	◎	◎	◎				
	専門高校入試	調査書・自己申告書（自己記入式）	◎	◎	◎	◎				
		読解・表現力試験	◎	◎	◎	◎				
	グローバル・英語入試	調査書・自己申告書（自己記入式）	◎	◎	◎	◎			◎	
		読解・表現力試験	◎	◎	◎	◎			◎	
		学校推薦型選抜Ⅱ		調査書及び自己申告書	★	★	★	★		
		★：参考とするもの								

材料エネルギー学部戦略企画会議規程

(令和5年島大材料エネルギー学部規則第4号)

(令和5年4月1日制定)

機密性1

(設置)

第1条 島根大学材料エネルギー学部に、島根大学材料エネルギー学部戦略企画会議（以下「会議」という。）を置く。

(組織)

第2条 会議は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

一 学部長

二 副学部長

三 学部長が指名する者

2 会議に議長を置き、学部長をもって充てる。

3 議長に事故があるときは、あらかじめ学部長が指名する副学部長がその職務を代理する。

4 会議が必要と認めるときは、会議に委員以外の者を出席させて、意見を聴くことができる。

(審議事項)

第3条 会議は、次の各号に掲げる事項を審議する。

一 学部組織、施設の管理運営及び将来構想等に関すること。

二 予算に関すること。

三 施設整備に関すること。

四 環境マネジメントの構築、維持及び実施に関すること。

五 教員業績評価に関すること。

六 広報に関すること。

七 入学者選抜試験に関すること。

八 教育課程等教育に関すること。

九 学生生活、就職支援等学生に関すること。

十 外部資金に関すること。

十一 国際交流に関すること。

十二 地域貢献に関すること。

十三 その他学部の運営等に関すること。

(議決)

第4条 会議は、当該会議での審議を受け、議長の決定をもって議決とする。

(専門委員会)

第5条 専門の事項を検討するため必要があるときは、会議に専門委員会を置くことができる。

2 専門委員会に関し必要な事項は、別に定める。

(事務)

第6条 会議の事務は、松江地区学部等事務部総務課において処理する。

(雑則)

第7条 この規程に定めるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は、会議において定める。

附 則

この規程は、令和5年4月1日から施行する。